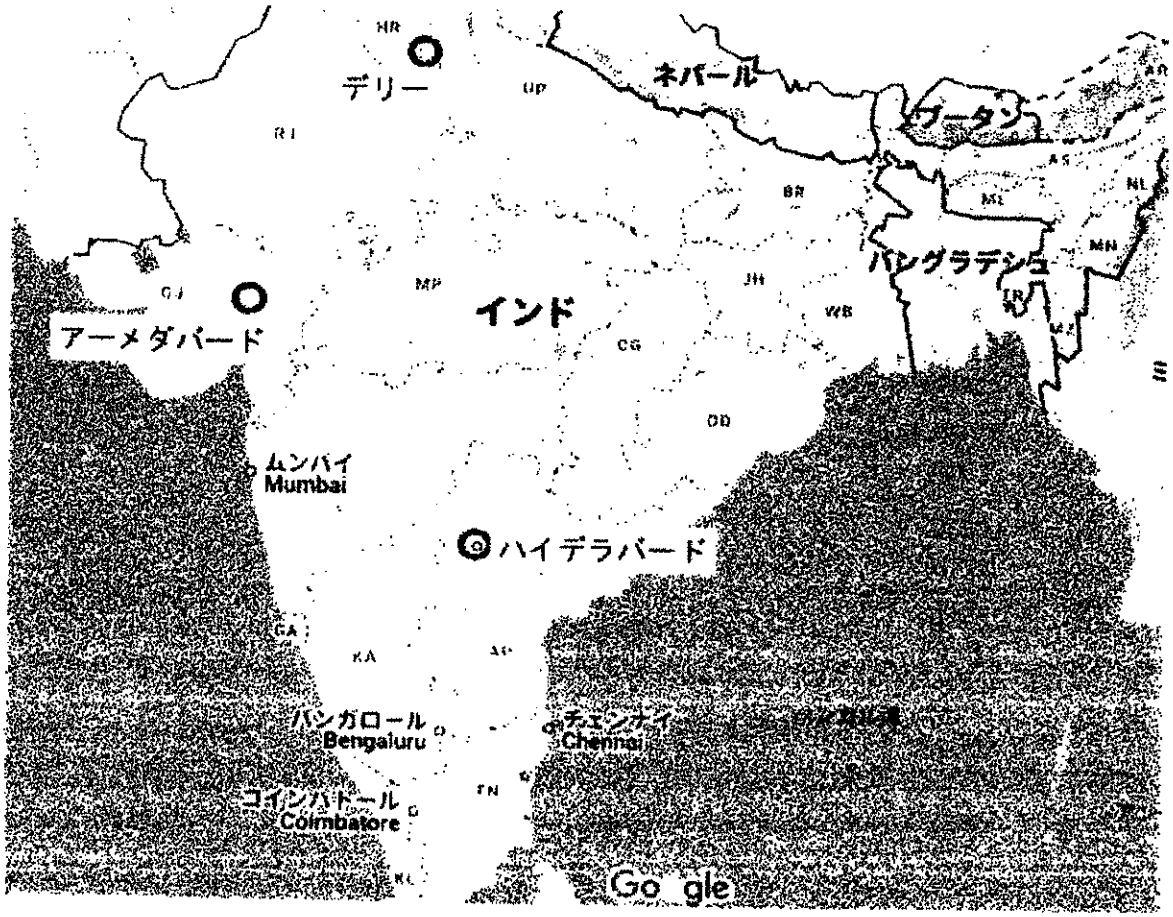
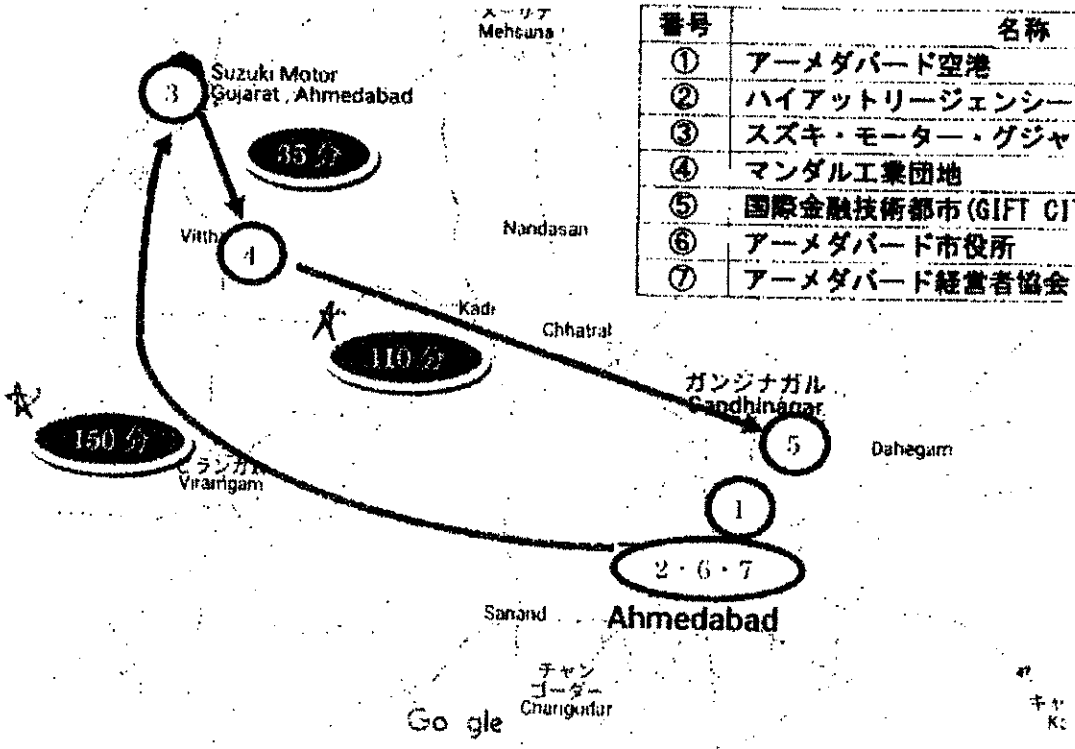
3　インド全景と訪問先位置図

①　インド全景

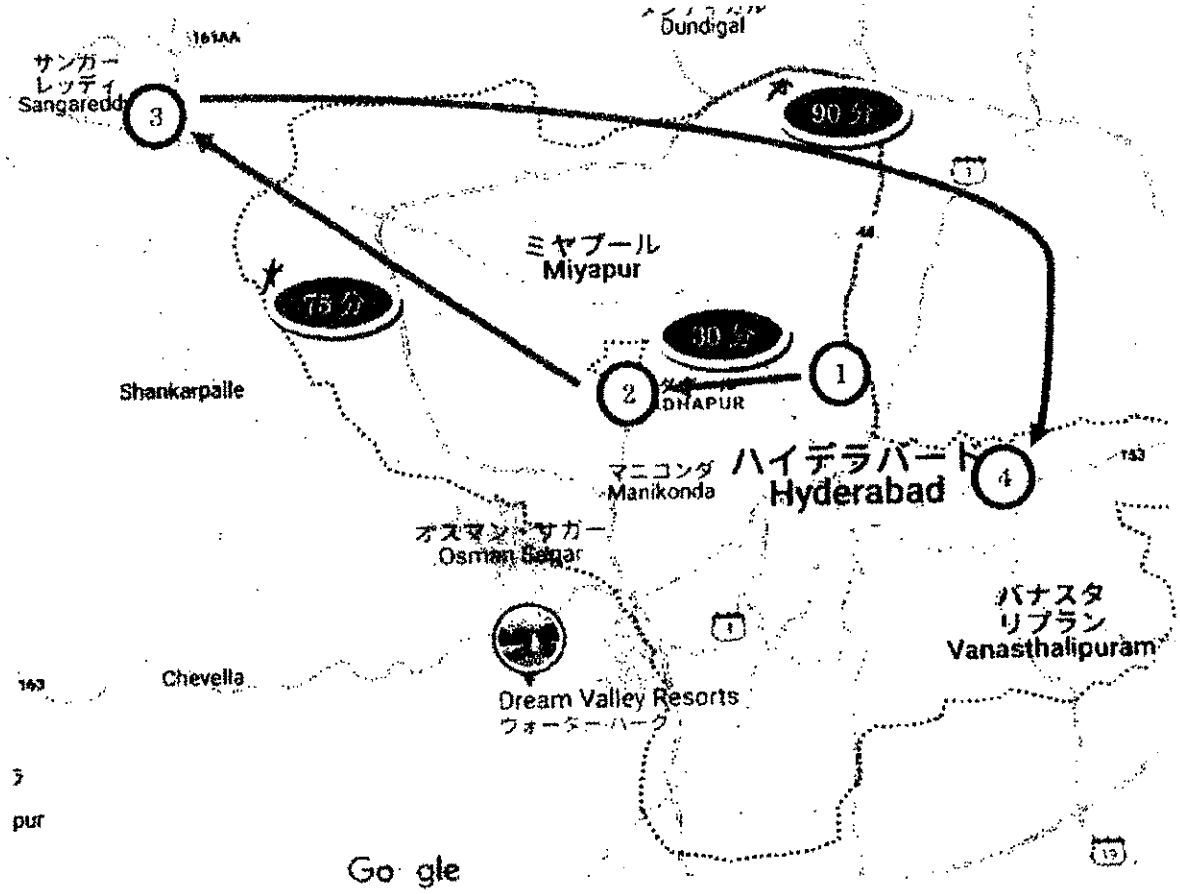


②　グジャラート州・アーメダバード



番号	名称
①	アーメダバード空港
②	ハイアットリージェンシーアーメダバード
③	スズキ・モーター・グジャラート
④	マンダル工業団地
⑤	国際金融技術都市(GIFT CITY)
⑥	アーメダバード市役所
⑦	アーメダバード経営者協会

③ テランガナ州ハイデラバード



番号	名称
①	ラジーヴ・ガンディー国際空港
②	ル・メリディアン・ハイデラバード（宿泊先）
③	インド工科大学ハイデラバード校（IITH）・SIC
④	アップパールスタジアム

4　インド概況

インド概況

国　　名	インド共和国 (Republic of India) 
政　　体	共和制
元　　首	ドロウパディー・ムルム大統領（任期5年、2022年7月就任）
政　　府	首相　ナレンドラ・モディ
議　　会	二院制（上院250議席、下院552議席（(注)インド憲法における規定数））
首　　都	ニューデリー（人口約1,679万人。2011年インド国勢調査）
面　　積	328万7,469㎢（インド政府資料：パキスタン、中国との係争地を含む）
人　　口	14億1,717万人（2022年世銀資料）
民　　族	インド・アーリヤ族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
言　　語	連邦公用語はヒンディー語 他に憲法で公認されている州の言語が21言語
宗　　教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.7%、仏教徒0.7%、ジャイナ教徒0.4%　（2011年国勢調査）
通　　貨	ルピー（INR）（1米ドル=82.98ルピー（2024年2月1日））
GDP(名目)	3兆3,851億ドル（2022年：世銀資料）
GDP成長率	7.0%（2022年度：世銀資料）
主要産業	農業、工業、IT産業
主要貿易相手国	輸出：米国、UAE、オランダ、中国、バングラデシュ（日本は第26位） 輸入：中国、UAE、米国、ロシア、サウジアラビア（日本は第13位） （2022年度：インド政府資料）
主要貿易品目	輸出：石油製品、宝石類、電気機器、一般機械、化学関連製品 輸入：原油・石油製品、宝石類、電気機器、一般機械、化学関連製品 （2022年度：インド政府資料）
日本の対インド貿易	輸出：2兆180億円（一般機械、化学関連品、電気機器、鋼等） 輸入：8,332億円（有機化合物、魚介類、ダイヤモンド、アルミニウム等） （2022年財務省貿易統計）
日本企業の進出状況	スズキ（四輪・二輪）、ホンダ（二輪）　ほか1,400社 （2022年在インド日本国大使館調査）
在留邦人数	8,197人（2023年10月）（外務省海外在留邦人数調査統計）
在日インド人数	16,262人（2023年6月）（法務省在留外国人統計）

○歴史

年月	略史
1947年	英国領より独立
1950年	インド憲法の制定
1952年	日インド国交樹立、第1回総選挙
1950年代～	コングレス党が長期間政権を担当（但し、1977～1980年、1989～1991年を除く）
1990年代	経済自由化政策の推進
1998年	インド人民党（BJP）を中心とする連立政権が成立
2004年	コングレス党を第一党とする連立政権が成立
2009年	コングレス党を第一党とする連立政権（第2次マンモハン・シン政権）が成立
2014年	インド人民党（BJP）政権が成立
2019年	インド人民党（BJP）政権（第2次ナレンドラ・モディ政権）が成立

○内政

2004年の第14回下院議員総選挙に引き続き、2009年の第15回下院議員総選挙でも、与党コングレス党を第一党とするUPAが過半数を確保。第2次UPA政権が発足。2014年4月から5月に行われた第16回下院議員総選挙では、インド人民党（BJP）が単独過半数を超えて大勝し、インド人民党（BJP）政権（ナレンドラ・モディ首相）が発足。2024年4月から5月に行われた第18回下院議員総選挙では、インド人民党（BJP）は単独過半数を割ったもののBJPを含む与党連合が辛勝し、BJP政権（ナレンドラ・モディ首相）が継続。

○外交

伝統的に非同盟、全方位外交を志向。近年、日本、米国との関係を積極的に強化し、日米豪印を「自由で開かれたインド太平洋」を推進するものとして重視。一方でロシアとの伝統的な友好関係を維持。経済関係が急速に発展した中国との間では、2020年に国境で軍事衝突が発生。モディ首相はインド太平洋地域における具体的協力を推進する「アクト・イースト」政策を展開。

○経済概況

インドは独立以来、輸入代替工業化政策を進めてきたが、1991年の外貨危機を契機として経済自由化路線に転換し、規制緩和、外資積極活用等を柱とした経済改革政策を断行。その結果、経済危機を克服したのみならず、高い実質成長を達成。2005年度～2007年度には3年連続で9%台の成長率を達成し、2008年度は世界的な景気後退の中でも6.7%の成長率を維持、2010～2011年度は8.4%まで回復したが、欧州債務危機及び高インフレに対応するための利上げ等の要因により、経済は減速。2014年度に入り、経済重視の姿勢を掲げるモディ新政権が成立。新政権成立後のGDP成長率は2014年度に7.4%、2015年度は8.0%、2016年度は8.3%、2017年度は6.8%、2018年度は6.5%と高い成長率を維持したものの、2019年度は3.9%と減速。2020年度に世界的な新型コロナ感染拡大の影響を受け、一時経済は大幅に縮小し、GDP成長率は－5.8%と大きく減速。同年度中からインフラへの投資を中心とした大規模な経済対策を実施したことで、第二波、第三波の影響は受けつつも、2021年度のGDP成長率は9.1%とプラスに転じ、コロナ前の水準に回復。2022年度のGDP成長率も7.0%と、高い水準を維持している。

5　訪問先詳細

12/22

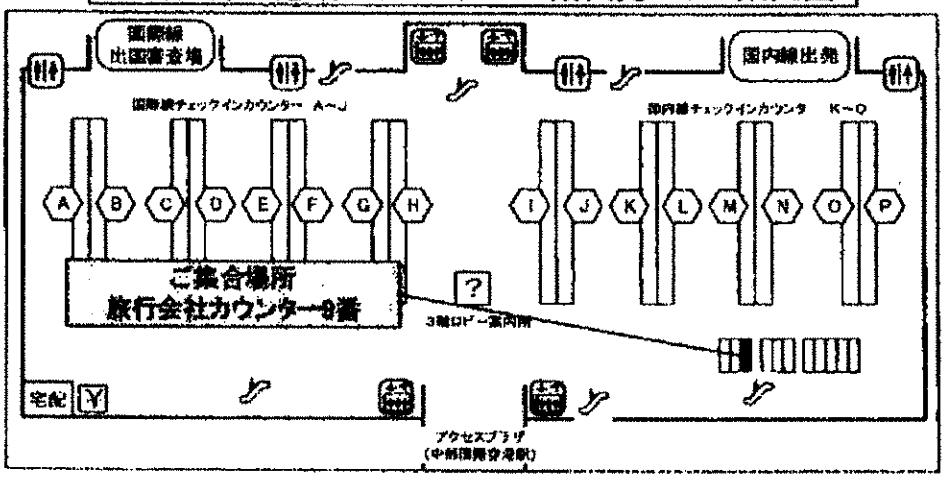
■　１２月２２日（日）第１日目　　※出発日

- 6：15　浜松駅改札前集合（浜松市関係者）※集合後新幹線ホームへ移動
- 6：28　浜松駅発【こだま 763 号新大阪行】（7:04 名古屋駅着乗換）
- 7：13　名古屋駅発【JR 東海道線新快速豊橋行】（7:17 金山駅着乗換）
- 7：24　金山駅発【名鉄名古屋本線ミュースカイ中部国際空港行】
- 7：48　中部国際空港駅着　※到着後徒歩移動
- 7：55　中部国際空港第１ターミナル到着

＜中部国際空港（セントレア）（日本出国）＞

- 8：20　旅行会社カウンター9 番『静岡県インド訪問団【浜松市団】』前集合

中部国際空港 第1ターミナル 3階出発ロビー案内図

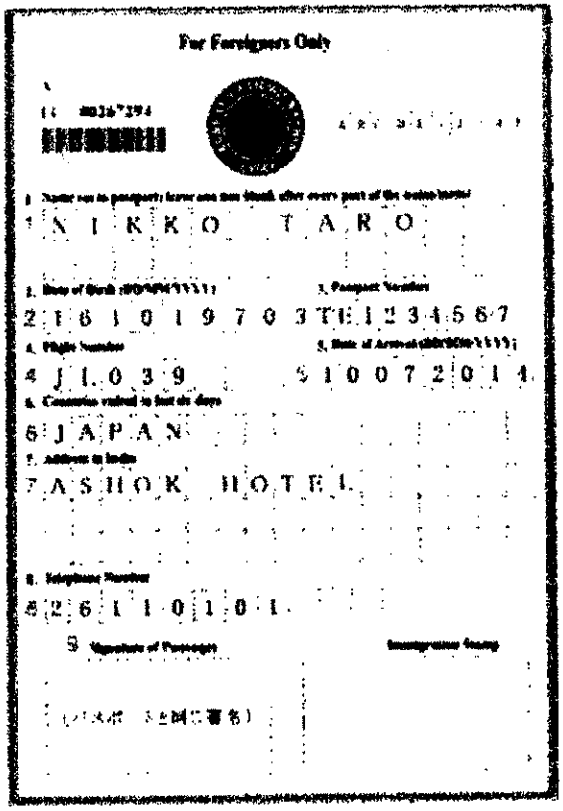


- 10：20　中部国際空港発【SQ671（シンガポール航空）】
　（所要時間　6 時間 55 分／機内食：有（昼食））

※以下、現地時間で表記（日本との時差はシンガポール：-2.5 時間・インド：-3.5 時間）

- 16：15　シンガポール・チャンギ国際空港着
- 18：40　シンガポール・チャンギ国際空港発【SQ504（シンガポール航空）】
　（所要時間　5 時間 40 分／機内食：有（夕食））
- 21：50　アーメダバード空港着
- 22：15　アーメダバード空港発【専用車】
- 22：40　ホテル到着、チェックイン

○インド入国時、入国カードを記載します



1：姓名（姓と名の間は1マス空ける）
2：生年月日（日/月/年）
3：パスポート・ナンバー
4：利用便名 ― SQ504
5：入国日（日/月/年）
6：6日以内に訪問した国
7：インドでの滞在先
8：インドでの電話番号
9：署名

＜携帯電話＞
●●●

＜滞在先（ホテル名）＞
1泊目の
「Hyatt Regency Ahmedabad」を
記載（2段書きでOK）

【宿泊ホテル】

ハイアットリージェンシーアーメダバード（Hyatt Regency Ahmedabad）

○住所　17/A, Ashram Road Ahmedabad, 380014 INDIA
○TEL　+91（国番号）－011-23710101

インターネット回線　有料・無料（有線・無線）

■ 12月23日（月）第2日目

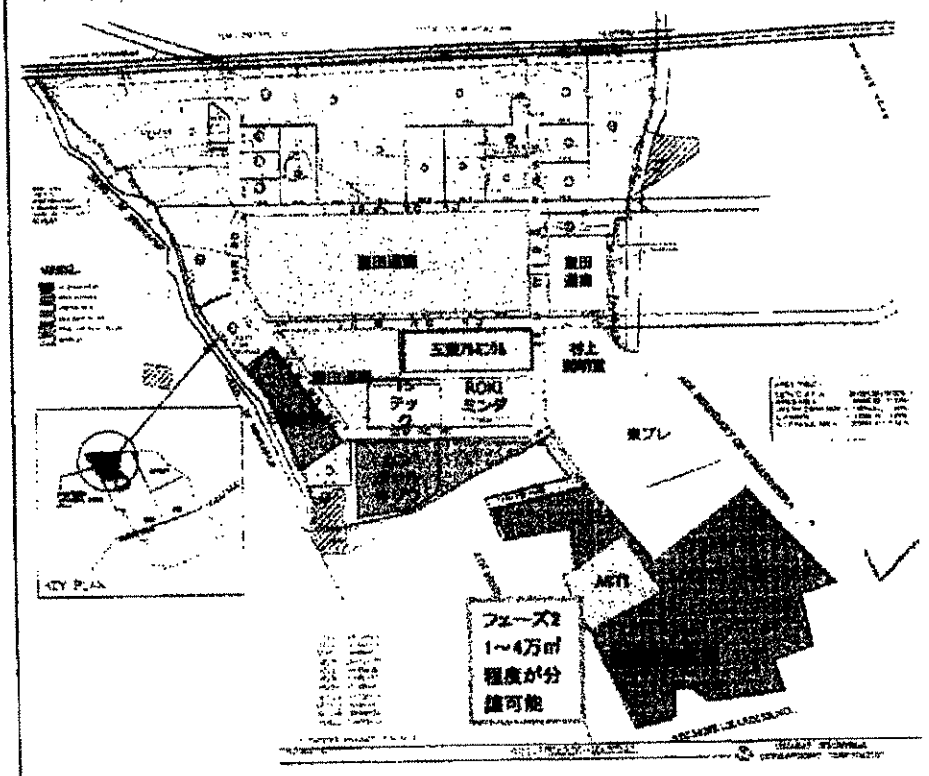
12/23

● スズキ・モーター・グジャラート視察

時間	10:00～11:30
概要	【目的】 インド人従業員の勤務状況やローカル企業等との取引を通して、インド人の特性やインド人との交流の可能性を探る。また、インドの風習、衛生事情、医療事業などの生活実態を把握する。 【スズキ・モーター・グジャラート】 ・スズキ株式会社における四輪生産会社（2014年にスズキ株式会社の子会社として設立。2023年11月マルチスズキ社の100%子会社化） ・2023年12月に累計生産台数300万台を達成。インド市場向けモデルの生産だけでなく、グローバル生産拠点として輸出モデルも生産し、中南米やアフリカ等に輸出。 2024年10月には、同拠点生産のフロンクスを日本市場でも発売した。 ・現在稼働中のラインは3ラインあり、年間生産台数は合計75万台。 2024年1月、将来的な電気自動車の増産を視野に、第4生産ラインの設置を発表（2026年稼働見込） ・本年1月、「バイブラント・グジャラート」（モディ首相列席、ガンディナガールで実施）で、スズキ株式会社鈴木社長が、将来的な電気自動車の増産を視野に、第4生産ラインの設置を発表（2026年度稼働開始見込み。これにより、SMGの生産能力は現在の75万台から100万台となる。）。また、今回視察する拠点とは別の場所に、年間生産能力100万台規模を見据えた新工場を建設することについて、グジャラート州政府と基本合意した。これらが全て稼働すると、グジャラート州での生産能力は、合わせて200万台体制となる。  （正面ゲート）  （フロンクス）

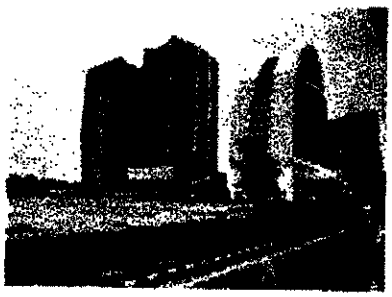
12/23

● マンダル工業団地視察

時間	13:30～14:30
概要	【目的】 県内企業も入居するマンダル工業団地において、レンタル工場や日本式ものづくり学校といった事業を展開している豊田通商インディア社が運営するテクノパークを視察し、進出メリットや課題等の現地ビジネス環境や県内企業の現地展開の可能性等を調査する。 【マンダル工業団地】 ・日本の経済産業省と JETRO がグジャラート州政府と共同で企業誘致を進める日本企業専用の工業団地（９社入居） ・県内企業では ASTL、村上開明堂、ROKI、MA アルミニウムが入居。 【豊田通商インディア社】 ・インド国内で工場操業をハード、ソフト両面から支援するテクノパーク事業と物流拠点を運営。 ・拠点はインド国内に４か所あり、マンダル工業団地内のテクノパークは 2015 年に設立。同社が展開するテクノパークの中で面積が最大 ・レンタル工場用建屋、オーダーメイド工場建設用の貸し地ほか物流拠点も所有。 ・バックオフィス支援サービスの一環として、従業員用食堂、通勤バス、医務室等も完備 ・日本式ものづくり学校を併設し、初期研修（３か月）、入居企業での OJT（33 か月）を経て卒業証書を授与。卒業後はほとんどの者が OJT を実施した企業に就職。 <マンダル日本企業専用工業団地> 

12/23

● グジャラート国際金融技術都市（GIFT CITY）視察

時間	17:00～20:00（夕食会含む）
概要	【目的】 インド初の国際金融経済特区を視察し、現地の最先端ビジネスや都市開発の状況、ネクストバーラトベンチャーズ IFSC プライベートリミテッド（スズキ株式会社の 100%子会社）による社会起業家支援の状況を調査する。 【グジャラート国際金融技術都市】 ・モディ首相（当時の州首相）発案のインド初の国際金融経済特区 ・2012 年に建設が本格始動（開発継続中）。 ・2023 年 6 月現在、HSBC、JP モルガン、バークレイズなど 23 の多国籍銀行、35 のフィンテック事業体、2 つの国際証券取引所、インド初の国際地金取引所が入居。商業、住宅などの複合施設があり、住民は徒歩で通勤可。 ・GIFT シティーの経済特区（SEZ）入居企業向けに、外貨での資金調達、資産運用、証券取引の仲介が可能。物品サービス税（GST）の免除などの税制優遇措置あり 【ネクストバーラトベンチャーズ IFSC プライベートリミテッド】 ・2024 年、スズキ株式会社が、インドにおける 100%出資の子会社「ネクストバーラトベンチャーズ IFSC プライベートリミテッド」（本社：GIFT シティー内、資本金：10 億ルピー（約 18 億円））（以下、「ネクストバーラト」）及びネクストバーラトが運営するファンド「ネクストバーラトベンチャーファンド-1」（出資金 4,000 万米ドル）を設立。 ・ネクストバーラトは、インドの社会課題をビジネスの力で解決することを目的に、ファンドを通じて農業や金融包摂、サプライチェーン、モビリティの分野で活動する社会起業家への支援や投資を実施するほか、ベンチャーキャピタルへの投資も実施予定。 ・スズキ株式会社は、ネクストバーラトの活動を通じて、インドの人々とモビリティ分野を越えたつながりを築き、インドの更なる発展への貢献を目指す。   （街並み）

【宿泊ホテル】

ハイアットリージェンシーアーメダバード（Hyatt Regency Ahmedabad）

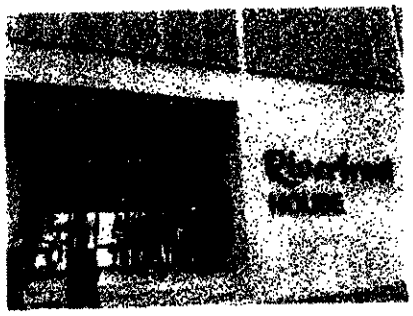
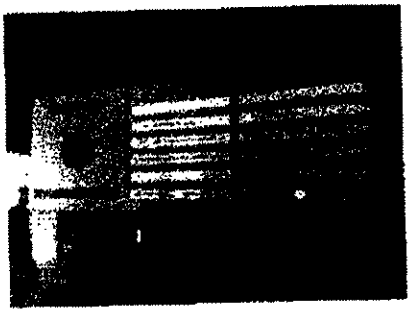
○住所　17/A, Ashram Road Ahmedabad, 380014 INDIA
○TEL　+91（国番号）- 011-23710101

インターネット回線　有料・**無料**（有線・**無線**）

12/24

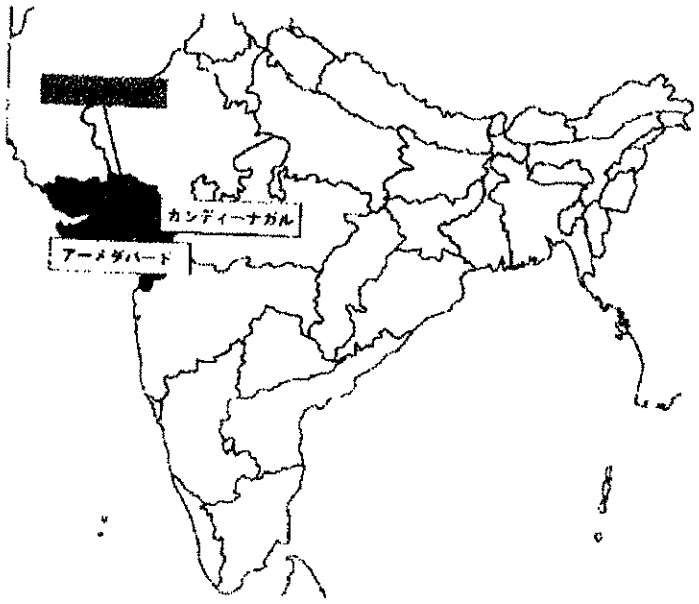
■ １２月２４日（火）第３日目

● アーメダバード市長表敬

時間	9:00～10:00
概要	【目的】 インドとの市民レベルでの友好関係を構築するため、文化的な交流だけではなく、スポーツ、教育などあらゆる分野の交流の可能性を探る。 【アーメダバード概要】 ・2011 年の都市地域の人口は 635 万人であり、世界第 47 位、同国では第 7 位である。 ・面積は 505 平方キロメートルで農業、綿織物業が盛んである。 ・イスラーム教徒が比較的多く（住民の 2 割程度）、多くのモスクが建てられている。ジャイナ教の寺院も多い。 ・近代的な都市で郊外に工場が多く、経済的には恵まれている。2017 年に世界遺産リストに登録された。 【カイト（凧）について】 ・アーメダバード市では、カイトをあげる文化があり、毎年 1 月にはカイトフェスティバルが開催される。 ・アーメダバード市章が本市の市章と似ていたり、凧という同じ文化を持つ関係から、友好関係が築ける可能性が高い。 【友好協定について】 ・インド共和国との関係構築にあたって、静岡県はグジャラート州と本市はアーメダバード市と友好協定締結に向け準備中。 ・インド共和国内の手続きに時間を要するため、12 月の訪問時に手続きが間に合わない場合は、友好協定に繋げるための文書交換を実施する。  （正面玄関）  （浜松市と類似の市章）

● グジャラート州政府訪問

12/24

時間	11:00～14:00　州首相表敬・友好協定(文書交換)締結式・州主催昼食会
概要	【目的】 グジャラート州政府と強固な関係を築くため、同州政府を訪問し、州首相表敬や友好協定締結式（または文書交換式）を行う。 【グジャラート州概要】 ・グジャラート州はインド北西部に位置し、北西はパキスタン、南西はアラブ海、北東はラジャスタン州、東はマディヤ・プラデシュ州に接している。州面積は 19.6 万 km2（全国土の 6.0%に相当）、州人口は約 6,500 万人（全人口の 7.7%に相当）である。 ・現在の連邦首相であるモディ首相が 14 年にわたり州首相を務めていたことで知られ、同氏の所属政党である BJP が圧倒的な基盤を有している。モディ州首相時代のインフラ整備、外資誘致に向けたビジネス制度の整備により、グジャラート州は飛躍的に発展した。 ・同州は綿花生産が盛んであったことから綿織物などの軽工業を発展させ、加えて海に囲まれた地の利を活かして東南アジアや中東との貿易に注力してきた。現在は石油化学を含む化学産業、製薬業、自動車や機械などの製造業が集積している。域内総生産に占める製造業の比率は 35.4%で、インド全体の 16.5%を大きく上回る（2017 年度）。 ・インド独立運動の指導者マハトマ・ガンディーの生誕地としても有名で、州都は「ガンディーの町」という意味のガンディーナガル最大都市はアーメダバード。 ＜位置図＞ 

● アーメダバード経営者協会（グジャラート印日友好協会）訪問

12/24

時間	15:00～16:30

概要

【目的】
インドとの市民レベルでの友好関係を構築するため、音楽、美術、伝統芸能など文化的な交流の可能性を探る。

【グジャラート州印日友好協会概要】
学術、ビジネス、文化面における日印の協力と理解促進を目的に 1975 年に設立。アーメダバード経営者協会（AMA）と提携。
＜会長＞
ムケシュ・パテル氏

【沿革】

時期	沿革
1972 年	ムケシュ・パテル氏が交換留学生として来日
1975 年	ムケシュ・パテル氏の熱望により設立
2000 年頃	アーメダバード経営者協会（AMA）と提携
2007 年 2 月	K.C. パリック会長（グジャラート大学副学長）の死去に伴い、ムケシュ・パテル氏が会長に就任
2009 年	日本が Vibrant Gujarat の公式パートナーになったことを契機に、AMA が日本を PR するイベントを開催（以降、AMA は日本の文化を発信する各種イベントを開催）
2015 年	三菱商事株式会社と株式会社メタルワン・コーポレーション・インディアの支援により、AMA 内に「日本情報留学センター（Japan Information and Study Centre）」を設立（以降、日本語センター、日本禅ガーデン、KHS カイゼンアカデミー、日本文化センターが順次開設）

【ムケシュ・パテル氏プロフィール】
- グジャラート州印日友好協会会長
- 2024 年 2 月、在グジャラート州日本国名誉領事に就任
  ※（インドで初。2024 年 10 月、アーメダバードに名誉領事館を開設）
- グジャラート大学と追手門学院大学（大阪府茨木市）の交換留学プログラムで来日
- 2017 年旭日小綬章を受章（日印の文化交流・友好親善及び経済関係強化に寄与）
- グジャラート商工会議所会頭、アーメダバード経営者協会総裁等を歴任。兵庫県とグジャラート州、神戸市とアーメダバード市との友好関係促進に尽力
- 2024 年 7 月の本県訪問団受入に協力（協会主催イベントで、県・浜松市に PR 機会を提供）

＜名誉領事＞
日本国の在外公館が設置されていない地域で、日本及び日本国民の利益の保護、外国との文化交流の促進等を図ることを目的に、日本国外務大臣が任命



● 静岡県主催現地関係者とのネットワーク構築会

12/24

Networking Reception - Connecting Shizuoka and Gujarat -

ネットワーク構築会 - 静岡とグジャラートを繋ぐ -

- Hosted by: Mr. SUZUKI Yasutomo, Governor of Shizuoka Prefecture
- DATE and TIME : December 24th, 2024 18:00～19:30 (Gate Open: 17:30)
- VENUE : Hyatt Regency Ahmedabad Regency Ballroom 1 & 2

- 主催: 静岡県知事 鈴木 康友
- 日時：2024 年 12 月 24 日 18：00～19：30（17：30 開場）
- 会場；ハイアット・リージェンシー・アーメダバード Regency Ballroom 1 & 2

1. Remarks 御挨拶（18:00～18:15）

1 Opening Remarks 開会挨拶
Mr. SUZUKI Yasutomo, Governor of Shizuoka Prefecture
鈴木 康友 静岡県知事

2 Remarks from Honored Guest 来賓挨拶
The Honorable Mr. Bhupendra Patel, Chief Minister of State of Gujarat
ブペンドラ・パテル グジャラート州首相

2. Networking Reception ネットワーク構築会（18:15～19:30）

1 Toast 乾杯
Mr. SUGIYAMA Morio, The Head of the Shizuoka Prefectural Assembly Delegation on Industrial Development
杉山 盛雄 静岡県議会産業振興等海外事情調査団長

2 Networking ネットワーキング（歓談）

3 Closing Remarks 閉会挨拶
Mr. NAKANO Yusuke, Mayor of Hamamatsu City
中野 祐介 浜松市長

【宿泊ホテル】

ハイアットリージェンシーアーメダバード (Hyatt Regency Ahmedabad)

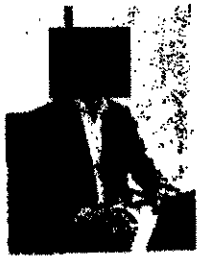
○住所 17/A, Ashram Road Ahmedabad, 380014 INDIA
○TEL +91（国番号）- 011-23710101 インターネット回線 有料・無料（有線・無線）

■ １２月２５日（木）第４日目

12/25

- 早　朝　ホテル発⇒アーメダバード空港へ　※朝食はBOX朝食となります
- 08：40　アーメダバード空港発
  （所要時間　1時間50分／機内食：無（軽食が出る可能性あり））
- 10：30　デリー空港到着

- 全日本空輸㈱片桐インド総代表との意見交換会（昼食含む）

時間	11:30～14:30（予定）
概要	【目的】 日本とインドの交流人口の現状と拡大の可能性を学ぶとともに、交流を深めるための秘訣を探る。 [redacted] [redacted] **全日本空輸株式会社** **インド総代表兼デリー[redacted]**  1968年４月　山形県天童市出身 1991年３月　立教大学法学部法学科卒業 1991年４月　全日本空輸株式会社入社　大阪支店販売部配属 1994年４月　京都支店国際販売担当 1997年４月　営業本部営業推進部、国際旅客営業部 1999年12月　パリ支店営業担当 2001年12月　東京支店国際販売部、法人販売部マネジャー 2005年７月　北京支店、中国統括室（北京駐在）マネジャー 2010年４月　販売計画室国際販売計画課マネジャー 2013年４月　ムンバイ・デリー支店総務・営業マネジャー（ムンバイ） 2015年４月　ムンバイ・デリー支店副支店長（ムンバイ） 2019年４月　[redacted] 【人物紹介（ANAホームページ・インタビュー記事より抜粋）】 ・1991年ANA入社。『全日空商魂物語』を読み、国際化に邁進する企業姿勢に共感したのが入社のきっかけ。営業・マーケティング部門を軸に、パリ、北京、ムンバイの駐在を経て、デリーに。会社人生の半分以上を海外で過ごす。 ・ムンバイ、デリーでの駐在中に出会った現地人の勤勉さや明るさから、インド人の魅力は自分自身で体感していました。アニメ好きの若者や親日家が多く、語学リテラシーが非常に高く、総じて日本語習得も早いと言われています。特に北東インドの人々の顔立ちはアジア人に近く、食生活や感性も日本と似ており文化の面でも親和性が高い。なのにインド人は日本を知らない、日本人もインドを知らない…そこで「自分がこの道の第一人者になろう！」と決意し、インド国内の全技能実習生送出し機関にコンタクトし、情報収集。 ・インパールやダージリンなどの地方都市にも足を運び、多くの若者に会ってヒアリング、日本の良さを説明する一方、日本国内では地方自治体や宿泊・介護の業界団体等に人材説明や講演活動を実施。講演後は実際に来印してもらい、インド人の魅力を実感してもらう取り組みも継続。

12/25

- 17：35　デリー空港発
  （所要時間　2時間15分／機内食：無（軽食が出る可能性あり））
- 19：50　ハイデラバード空港着
- 20：10　ハイデラバード空港発【専用車】
- 20：40　ホテル到着、チェックイン

【宿泊ホテル】

ル・メリディアン・ハイデラバード (Le Meridien Hyderabad)

○住所　Plot No 132 Miyapur Road, Gachibowli Hyderabad 500032, INDIA
○TEL　+91（国番号）- 040-42865550

インターネット回線　有料・無料（有線・無線）

12/26

■ 12月26日（木）第5日目

● インド工科大学ハイデラバード校（IITH）訪問（覚書締結ほか）

時間	9:30～14:00

概要

【目的】
すでに連携協定を締結している静岡大学との連携の強化及び、市内の他大学との学術交流の可能性を探る。また、IITHで学ぶ目的や今後の人生設計等について学生との意見交換を行う。

【IITH概要】
・インドのテランガーナ州サンガレッディ地区のサンガレッディ近くのカンディ村にある公立工科大学。
・IITHは2008年に設立され、インドで最も急速に成長している高等教育機関の1つである。
・学生は約2700人で、学部はAI、医用生体工学、バイオテクノロジー、化学工学、気候変動、土木工学、コンピュータサイエンス&エンジニアリング、電子工学、工学科学、材料科学・冶金工学、機械・航空工学、化学、物理、数学、リベラルアーツ、デザイン、起業・経営
・IITHは、国際協力機構（JICA）から技術・財政支援を受けて設立された経緯もあり、日系企業との交流も多く見られる。
・本市とは2022年12月のIITHへの職員の訪問から交流が始まり、その翌月に、同校校長が来日し、市長との面談をするなど交流を深め、連携の可能性を模索してきた。
・静岡大学は2017年に同校と連携協定を締結している。

【本市との繋がり】

2022.12	IITH、スズキイノベーションセンターに職員が訪問
2023.1	IITH学長の市長表敬訪問
2024.3	スズキ㈱主催の人材交流プログラムとして、IITH等の学生20名が市役所を訪問「市長講話」
2024.7	スズキ㈱主催の人材交流プログラムとして、IITH等の学生20名が市役所を訪問「市長講話」

【覚書締結式】
・人口減少による、IT人材不足等の課題を解決する手段としての高度外国人材の受け入れを促進させるため、インド工科大学ハイデラバード校との覚書を締結する。

＜式次第案＞（司会進行：[redacted]）
11:00　開会
11:03-11:15　代表挨拶　IITH学長→浜松市長の順
11:15-11:20　MOU署名（学長・浜松市長）
11:20-11:23　記念品贈呈
（学長・浜松市議会議長・浜松商工会議所会頭）
11:23-11:25　写真撮影
11:25-11:30　意見交換、マスコミ対応ほか

12/26

● スズキイノベーションセンター（SIC）・ネクストパーラトベンチャーズ視察

時間	9:30～14:00の一部
概要	【目的】 インド人との交流を深める方法やインドの社会課題解決に挑戦している手法を学び、本市の課題解決に横展開できる手法であるか可能性を確認する。 【SIC・ネクストパーラトベンチャーズ】 ・同センターは、2021年にスズキ株式会社がIITHと共同で同校に開設交流拠点である。 ・スズキのエンジニアと同校の教員や学生との人材交流や情報交換の場であり、自動車や農業などの分野で共同での研究開発、人材育成などにつなげている。 ・スズキは同センターを活用し、主力市場とするインドで電動化や自動運転への対応で必要となる技術開発力の強化を目指すほか、将来的には現地の優秀な人材の確保につなげる。 ・また、同センターは、スズキ株式会社100%出資の子会社で、インドの社会課題をビジネスの力で解決することを目的に、ファンドを通じて農業や金融包摂、サプライチェーン、モビリティーの分野で活動する社会起業家の支援や投資を行う本年7月に設立した「ネクストパーラトベンチャーズ」の傘下に入り、引き続き人材交流の拠点として、将来の共同研究や教育プログラム開発などの可能性を探るとしている。 【ネクストパーラトベンチャーズ覚書締結式】 ・浜松市をインドと日本産業連携の架け橋として位置付け、地域の産業成長に寄与することを目指すために、人的交流、機会創出、情報提供などを行う覚書を締結する。 ＜式次第案＞（司会進行：ネクスト社[redacted] 11:30　開会 11:33-11:45　代表挨拶　シンダル社長→浜松市長の順 11:45-11:50　MOU署名（社長・浜松市長） 11:50-11:53　記念品贈呈 （社長・浜松市議会議長・浜松商工会議所会頭） 11:53-11:55　写真撮影 11:55-12:00　意見交換、マスコミ対応ほか

● アップパールスタジアム視察

時間	15:45～17:30
概要	【目的】 インドにおいて国民的スポーツとなっているクリケットスタジアムを視察し、スポーツ振興の面での連携可能性を探ると共にクリケットに対する知見を深め、今後の施策に活かす。 【スタジアム概要】 ・ハイデラバードにある国際クリケットスタジアム 正式名：ラジブガンディー国際クリケットスタジアム ・ハイデラバードクリケット協会が運営 ・座席数 39,200、敷地面積 15 エーカー、サンライザーズハイデラバード（IPL チーム）の本拠地。  (2024 年時点のスタジアム)

【宿泊ホテル】

ル・メリディアン・ハイデラバード (Le Meridien Hyderabad)

○住所　Plot No 132 Miyapur Road,Gachibowli Hyderabad 500032, INDIA

○TEL　+91（国番号）－040-42865550　インターネット回線　有料・無料（有線・無線）

12/27

■ １２月２７日（金）第６日目　　※帰国日

- 11：15　ハイデラバード空港発【SQ519】
  （所要時間　4時間45分／機内食：有（昼食））
- 18：30　シンガポール・チャンギ国際空港着

（空港泊）

12/28

■ １２月２８日（金）第７日目　　※帰国日

- 01：20　シンガポール・チャンギ国際空港発【SQ672】
  （所要時間　6時間10分／機内食：有（朝食））
- 08：30　中部国際空港着　※日本時間

～お疲れ様でした～

6　食事について

食事

日付	時間帯	内容	会場
12/22（日）	昼食	機内食	中部→シンガポール機内（SQ671）
	夕食	機内食	シンガポール→アーメダバード機内（SQ504）
12/23（月）	朝食	ホテル	ビュッフェ
	昼食	和食	スズキ・モーター・グジャラート駐在員寮
	夕食	GIFT CITY	ビュッフェ
12/24（火）	朝食	ホテル	ビュッフェ
	昼食	グジャラート州政府	州首相主催昼食会
	夕食	ネットワーク構築会	ビュッフェ
12/25（水）	朝食	専用車内	BOX
	昼食	ANA意見交換会	ビュッフェ
	夕食	@未定	未定 @デリー Airport.
12/26（木）	朝食	ホテル	ビュッフェ
	昼食	IITH ゲストハウス	インド料理
	夕食	@未定	未定 @レストラン.
12/27（金）	朝食	ホテル	ビュッフェ
	昼食	機内食	ハイデラバード→シンガポール機内（SQ519）
	夕食	@シンガポール空港	各自 @チャンギ Airport
12/28（土）	朝食	機内食	シンガポール→中部機内（SQ672）

8　訪問地注意事項（インド）

訪問地注意事項（インド）

時差	・日本より3.5時間遅い（日本の正午＝現地の午前8:30）。
気候	・アーメダバード市の12月の平均最高気温は約30℃、平均最低気温は約15℃、乾季で過ごしやすい。
宗教上の留意点	・女性は肌を見せない習慣がある。男性もショートパンツは不可。 ・8割がヒンドゥー教徒。その他14%はイスラム教徒など。宗教上、牛、豚を食べない人が多く、ベジタリアンも多い。 **・グジャラート州は禁酒法が施行（ドライ）。公共空間での飲酒不可。** ・ヒンドゥー教、イスラム教ともに左手は不浄の手とされるため、**握手や食事、物の受渡しなどは右手で行うのが基本。**
宿泊先ホテル	・シャンプー、コンディショナー、石鹸、綿棒、コットン、くしは備付けがあるが、合う合わないがあるため、**日本からの持参をお勧め。歯ブラシ、歯磨き粉は要持参。**ドライヤーは備付けあり。
保健衛生	**・トイレは不衛生。**ドアノブ周囲に汚染された指紋の跡が付着していることがあるので、使用後の手洗いは注意深く行う。 ・高級ホテルやレストランを除き、トイレは和式に似たインド式。使用後は自分で手桶で水を汲んで流す。インド式トイレにはトイレットペーパーがなく、現地の紙は質が悪いので、**日本からティッシュペーパーの持参を推奨。** ・宗教上の理由から、野生動物の駆除や殺生が避けられているため、町中いたるところに野良犬、野良猫、猿、リスなどの野生動物、野鳥、野良牛が多い。**犬、猿は狂犬病のリスクが高く、動物には絶対に近づかないこと。** ・経口感染症が多く、食事前や外出後には、石鹸で手を洗うこと。アルコールを携帯し、こまめに手指消毒することも有効。
水・食事	**・全土で水事情が悪く、蛇口から出る水道水は飲用不可。飲用にはボトル詰め飲料を選び、開栓の際に密閉の不具合を確認する。レストランで出される水は水道水が多いので避け、氷にも注意。** ・インド料理はスパイシーで油も多く、胃もたれや下痢をしやすい。
治安状況	**・詐欺やスリ、ひったくり、性的暴行、睡眠薬強盗などが発生。特にデリーでは旅行会社がらみの詐欺事件が多発している。** ・交通秩序、マナーがないに等しいため、道路の歩行、横断の際は、交通事故に遭わないよう、常に周囲を注意。

写真撮影	・空港、軍関連施設、港湾、橋梁、ダム等の写真撮影は禁止。鉄道も撮影禁止。
通貨	・ルピー（Rupee/略号はRs）、補助通貨単位はパイサー（Paisa） Rs1=100 P 紙幣の種類：Rs10、Rs20、Rs50、Rs100、Rs500、Rs1,000、Rs2,000の７種類 硬貨の種類：P10、P20、P50、RS1、RS5、RS10の７種類。 ・１ルピー＝1.81円（令和６年11月現在）
両替 （現金）	・現地通貨は、交通費、チップ、飲み物代程度を用意。 ・インド・ルピーへの両替は、到着後ガイドに依頼（5,000円ごと）。 空港の両替所は係員不在が多く、対応が期待できない。 ・再両替不可のため、使い切ることができる少額を推奨。
ｸﾚｼﾞｯﾄ カード	・現金を持ち歩かずにすみ、レート、両替手数料ともに現金より得。 ・出発前に必ず利用限度額と暗証番号（PINコード）を確認。盗難、紛失の際は速やかにカード会社に届け出る必要があるので、連絡先も要確認。
チップ	・レストラン：サービス料が含まれている場合は不要。そうでない場合は10%程度。 ・ホテル：荷物の運搬やルームサービスを依頼した際には、チップを渡した方がマナーとしてスマート。目安は、Rs20程度。
電気機器	・220V、50Hz。100V専用の日本製品を使う場合は変圧器が必要。 ・プラグの形状は様々（B3、BF、B、C）。宿泊先はマルチコンセント。
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ環境	・宿泊先では、部屋で無料のWIFIが利用可能。
喫煙	・インドに持ち込める免税範囲は紙巻たばこ100本、または葉巻25本、または刻みたばこ125ｇ。 ・電子タバコ及び加熱式タバコの持込は禁止（没収）。 ・喫煙には寛容だが、公共施設での喫煙は200ルピーの罰金。
土産	・古美術品の中には重要美術品の指定を受け、インド政府（考古学局）の許可なしに輸出できないものがあるので、古美術品の購入時には、この点の確認と領収書の保管が必要。

出典：外務省海外安全ホームページ
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_001.html
阪急交通社　インド観光ガイド
https://www.hankyu-travel.com/guide/india/index.php

9　緊急時現地医療機関（アーメダバード）

緊急時現地医療機関

1　救急

（1）Zydus Hospital

・概要：アーメダバード市内最大の総合病院で外国人の利用も多い。院内にはジャパニーズヘルプデスクがあり、日本語対応が可能なローカルスタッフが常駐している。

【診療時間】　月－土 8：00-20：00　日祝休診　24 時間緊急外来あり

・所在地：Zydus Hospital Rd, Sola, Ahmedabad, Gujarat 380059

・電話：+91-(0)99090-21667（救急用）

・ホームページ：https://zydushospitals.com/ahmedabad-zydus-hospitals

（2）APOLLO HOSPITAL INTERNATIONAL

・概要：インドの大手総合病院。遠隔でジャパニーズヘルプデスクのサポートを受けることが可能。

【診療時間】　月－土 9：00-17：30　日祝休診　24 時間緊急外来あり

・所在地：Plot No, 1A, Gandhinagar - Ahmedabad Rd, GIDC Bhat, estate, Ahmedabad, Gujarat 382428

・電話：+91-(0)84018-01066

・ホームページ：https://www.apollohospitals.com/ahmedabad/

（3）Shalby Hospitals

・概要：S.G ロード沿いの市立病院。ジャパニーズヘルプデスクなし。

【診療時間】　月－土 9：00-17：30　日祝休診

・所在地：Opp. Karnavati Club, S G Road, Ahmedabad - 380015, Gujarat

・電話：+91-(0)99240-67400

・E メール：info@shalby.org

・ホームページ：https://www.shalby.org/

2　歯科

（1）Teeth Care Centre Dental Hospital

・概要：設備もきれいで清潔な市内の歯医者。歯のクリーニング、虫歯治療、インプラント、歯列矯正などが可能。

・所在地：2nd Floor, Pushpak66, Near Someshwar Jain Temple, 132 feet Ring Road, Satellite, Ahmedabad, India 380015.

・電話：+91 -(0)93-777/787-83384

・E メール：info@teethcarecentre.com

・ホームページ：https://teethcarecentre.com/

※情報元：アーメダバード日本人会 HP

10　インド情勢と日印関係

最近のインド情勢と日インド関係

インド概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

インド政治・経済情勢 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

最近のインド外交 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

日インド関係（１） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

日インド関係（２） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

2024年11月
外務省南西アジア課

インド：台頭するグローバル・パワー

1

- ●急速な経済成長
  …高い経済成長率、世界第5位の経済規模
- ●国際社会での発言力
  …いわゆるグローバル・サウスの中心国、G20、日米豪印、BRICS等のメンバー
- ●巨大な人口・市場
  … 世界最大の人口、巨大な中間所得層
- ●地政学的な重要性
  …シーレーン上、ユーラシア大陸の中央
- ●確立された民主主義、言論の自由
  …安定した内政運営、独立以来軍事クーデターなし
- ●世界規模のインド人ネットワーク
  …在外インド人（印僑）の存在

- GDP成長率：8.2%（2023年：世銀資料）
  - 中国：5.0%（2023年：世銀資料）
  - 17年：6.8%、18年：6.5%、19年：3.9%、20年：-5.8%、21年：9.1%、22年7.0%（2023年：世銀資料）

  （注）2050年にはGDP世界第2位に成長するという予測あり（OECD, 2023年）。
- 名目GDP：約3兆5,000億ドル（世界第6位/2023年：世銀資料）
  - 第4位：日本（4兆2,128億ドル）、第5位：英国（3兆3,400億ドル）

  （注）・第3位：ドイツ（4兆4,456億ドル）
  - ASEAN（3兆7,819億ドル）

  （注）2025年にはインドを抜き世界第4位（約4兆3,100億ドル）に成長する見通し。（IMF予測,2024年）
- 一人当たりGDP：2,485ドル（2023年：世銀資料）

  （注）中国：12,814ドル、日本：33,834ドル
- 人口：14億2,862万人（2023年：世銀資料（世界第1位））
  - 中国：14億1,071万人
  - ASEAN（約6億8千万人）の約2倍
- 識字：328.7万人（世界第7位）
  - ASEANの約73%　中国の約34%　日本の約9倍

  （注）EU:623.3万人
- 在外インド人（印僑）：約1,600万～2,000万人（2世、3世を含めると3,000万人以上）
  - 華僑（香港、台湾を除く）：約2,000万～3,000万人
- 兵力：146万人（2023年：ミリタリー・バランス2024）
  - 中国：204万人　・パキスタン：66万人
- 国防予算：730億ドル（2023年：ミリタリー・バランス2024）
  - 中国：2,195億ドル　・パキスタン：113億ドル



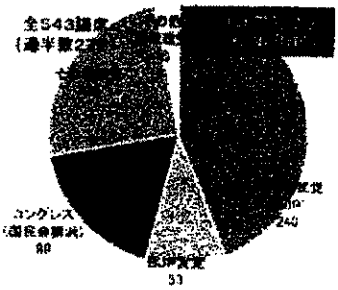
インド政治・経済情勢

2

ナレンドラ・モディ政権（BJP政権）

- 下院総選挙は5年に1回。首相の任期は5年。
- 2014年5月モディ首相率いるインド人民党（BJP）は282議席を獲得し第1党に。2019年の下院総選挙で前回を上回る303議席を獲得し大勝。
- 2024年下院総選挙では、インド人民党（BJP）は、240議席の獲得に止まり単独過半数を失うものの、与党連合として293議席を獲得。モディ首相が3期連続で首相に就任。

<モディ政権の今後の重要課題>
- 持続的な経済成長、格差対策、失業者対策
- 「メイク・イン・インディア」、「メイク・フォー・ワールド」の実現
- 宗教、地域、カーストの対立を越えた協調的社会の実現
- 外交政策（日米豪印、伝統的な露との関係、グローバル・サウスの主要国として）





国民民主主義連合（NDA）	293
インド人民党（BJP）	240
BJP友党	53
インド全国開発包摂連合（I.N.D.I.A）	234
コングレス（国民会議派）	99
その他政党	135
その他（地域政党）	16

最近のインド経済

- モディ首相は、メイク・イン・インディア、デジタル・インディア、クリーン・インディア等の様々な経済イニシアティブを推進。投資振興策として、通信機器や自動車、応用化学電池等、主要15分野を特定して生産連動型優遇策（PLI）を実施しているほか、半導体産業への包括的な補助金制度も導入。また、国家マスタープラン「ガティ・シャクティ」を発表し、社会基盤整備にも注力。
- 世界的な新型コロナウィルス感染拡大の影響を受けた2020年度を除き、インド経済は堅調に成長。2020年度に－6．6%と大きく減速したGDP成長率は2021年度に9．7%へとプラスに転じ、2022年度は7．0%、2023年度は8．2%と堅調に推移

インド外交：「戦略的自律性」に基づく「自由で開かれたインド太平洋」の推進

3

- 戦略的自律性の確保を重視。特定国との同盟関係ではなく、主要国との全方位外交を展開。
- 「インド太平洋」は自由で開かれた包括的な地域であり、法の支配が重要との立場発信。
- 日米豪印を「自由で開かれたインド太平洋」を推進するものとして重視。

ロシア
- 旧ソ連時代からの伝統的関係。
- 2000年以降、年次首脳会談を実施（これまで21回）
- ロシア産原油輸入、原子力、エネルギー分野等で協力。

【要人往来】
- 2019年6月（非公式）、モディ首相訪露
- 2019年10月、プーチン大統領訪印
- 2019年9月、モディ首相訪露（東方経済フォーラム）
- 2021年12月、プーチン大統領、ラブロフ外相、ショイグ国防相訪印（首脳会談、閣僚会合（2+2））
- 2022年4月、ラブロフ外相訪印
- 2022年11月、ジャイシャンカル外相訪露
- 2023年3月、ラブロフ外相訪印（G20外相会合）
- 2023年5月、ラブロフ外相訪印（上海協力機構（SCO）外相会合）
- 2023年9月、ラブロフ外相訪印（G20首脳会合）
- 2023年12月、ジャイシャンカル外相訪露
- 2024年7月、モディ首相訪露
- 2024年10月、モディ首相訪露（BRICS首脳会合）

中国
- 国境紛争（1962年）、冷戦構造等により長期間関係停滞。（国境紛争は現在も継続。2020年6月には国境にて衝突が勃発、45年ぶりに死傷者が発生し、緊張激化。）
- 2000年以降、経済関係拡大。現在に至るまで中国は印の最大の輸入相手国の一つ。

【要人往来】
- 2018年10月、習近平国家主席訪印
- 2018年4月（非公式）、6月、モディ首相訪中
- 2019年10月（非公式）、習近平国家主席訪印
- 2022年3月、王毅外相訪印
- 2023年3月、秦剛外相訪印（G20外相会合）
- 2023年5月、秦剛外相訪印（上海協力機構（SCO）外相会合）
- 2023年9月、李強首相訪印（G20首脳会合）

米国
- 安全保障、経済面を中心に良好な関係
  貿易：日米印合同演習（マラバール）、米国産武器輸入
  投資：2021年度は印最大の貿易相手国、44万人のインド系住民

【要人往来】
- 2019年9月、モディ首相訪米（国連総会）
- 2020年2月、トランプ大統領訪印
- 2021年7月、ブリンケン国務長官訪印
- 2021年9月、モディ首相訪米（日米豪印首脳会談、国連総会）
- 2022年4月、ジャイシャンカル外相、シン国防相訪米（第4回「2+2」）
  米印豪首脳テレビ会談
- 2022年9月、ジャイシャンカル外相訪米（国連総会）
- 2022年12月、ジャイシャンカル外相訪米（閣僚級戦略対話）
- 2023年3月、ブリンケン国務長官訪印（G20・日米豪印外相会合）
- 2023年5月、モディ首相国賓として訪米
- 2023年9月、バイデン大統領訪印（G20首脳会合）
- 2023年9月、ジャイシャンカル外相訪米（国連総会）
- 2023年11月、ブリンケン国務長官、オースティン国防長官訪印（第5回「2+2」）
- 2024年9月、モディ首相訪米（日米豪印首脳会談、国連未来サミット）

オーストラリア
- 「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」構想に共鳴する形で、2020年6月の印豪首脳テレビ会談を通じて関係を「包括的戦略パートナーシップ」へ格上げ。

【要人往来】
- 2014年11月、モディ首相訪豪（G20）
- 2017年4月、ターンブル首相訪印
- 2020年1月、ペイン外相訪印
- 2020年6月、印豪首脳テレビ会談
- 2021年9月、ペイン外相、ダットン国防相訪印（豪と初の「2+2」）
- 2022年3月、印豪首脳テレビ会談
- 2022年10月、ジャイシャンカル外相訪豪
- 2023年3月、ウォン外相訪印（G20・日米豪印外相会合）
- 2023年3月、アルバニージー首相訪印
- 2023年5月、モディ首相訪豪
- 2023年9月、アルバニージー訪印（G20首脳会合）
- 2023年11月、マールズ副首相、ウォン外相訪印（第2回「2+2」）

日インド関係（1）

4

最近の首脳往来

- 2014年の「日印特別戦略的グローバル・パートナーシップ」への格上げ、首脳年次相互訪問の実施等を通じ、日印関係は加速度的に強化。

08年12月：シン首相訪日
14年9月：モディ首相訪日
15年12月：安倍総理訪印
16年11月：モディ首相訪日
17年09月：安倍総理訪印
18年10月：モディ首相訪日
19年6月：モディ首相訪日（G20）
22年3月：岸田総理訪印
22年5月：モディ首相訪日（日米首脳）
22年9月：モディ首相訪日（国葬儀）
23年3月：岸田総理訪印
23年5月：モディ首相訪日（G7）
23年9月：岸田総理訪印（G20）

戦略的グローバル・パートナーシップ、首脳年次相互訪問に合意
日印特別戦略的グローバル・パートナーシップのための共同宣言を発出＜平和勲典＞
日印新時代の幕開け＜ヴァラナシ訪問＞
「日印新時代」を大きく飛躍させる首脳会談＜特戸訪問＞
インド太平洋地域と世界の平和と繁栄を主導する決意を示す訪問＜グジャラート訪問＞
特別かつ重要的な日印関係を象徴する訪日＜出雲訪問＞
G20大阪サミット出席のため訪日。日印首脳会談実施
4年半ぶりの総理訪印で、年次首脳相互訪問を再始動＜デリー訪問＞
東京で日米豪印首脳会合及び日印首脳会談実施
故安倍晋三総理にモディ首相参列。日印首脳会談実施
G7・G20議長国としての通算8度目。「自由で開かれたインド太平洋」の新プラン発表
G7広島サミット参加のため訪日。日印首脳会談、日米豪印首脳会合を実施
G20ニューデリーサミット出席のため訪印。日印首脳会談実施

政治・安全保障

●政治交流・対話
- 年次首脳相互訪問、外相間戦略対話、外務次官級対話等を実施。
- 日米豪印首脳会合（外相会合、局長級会合も実施）の実施。

●安全保障・防衛
- 2015年12月、防衛装備品・技術移転協定、情報保護協定の署名（2016年3月発効）。
- 2019年11月、第1回外務・防衛閣僚会合（「2＋2」）の開催（デリー）。
- 2020年 9月、ACSA（物品役務相互提供協定）の署名（2021年7月発効）。
- 2022年 9月、第2回「2＋2」の開催（東京）。
- 2023年 9月、初の日印統合演習協議の開催（デリー）。
- 2023年中には、初の日印戦闘機共同訓練を含め、1年間に陸海空3軍種全てで共同訓練を実施。
- 2024年 8月、第3回「2＋2」の開催（デリー）。
- その他軍種/不拡散協議、サイバー協議、宇宙対話等の実施


日印首脳会談（24年10月、於 ビエンチャン）


日印「2＋2」（24年8月、於 ニューデリー）

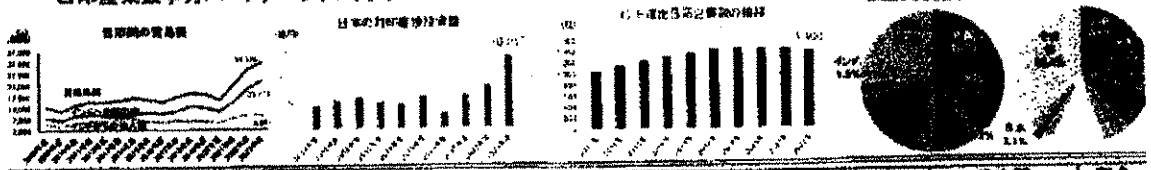
日インド関係（2）

5

経済・経済協力

- 近年、インドは我が国最大規模の円借款受取国。高速鉄道、デリーメトロ等を支援（2022年度は約5,674億円を供与）。
- 連結性協力として、第三国や印北東部での協力を具体化。
- 2011年8月に日インド包括的経済連携協定（CEPA）発効。
  2023年度の貿易総額は約3兆1,378億円（日から印：約2兆3,329億円、印から日：約8,049億円）。（出典 財務省貿易統計）
- 2022年3月の岸田総理訪印時に、今後5年間における対印官民投融資5兆円の目標を表明。
- 2023年度の日本の対インド直接投資実行額は約10,815億円。（出典：財務省対外直接投資統計）
- インドへの進出日系企業数は近年横ばいで推移（2022年10月時点で1,400社、4,901拠点）。
- 新たな分野を含め2国間の協力を積極的に推進。
  ・デジタル・パートナーシップ（スタートアップ、IT人材交流）やICT分野における協力覚書
  ・日印産業競争力パートナーシップ、クリーン・エネルギー・パートナーシップ等


2016年モディ首相訪日時の新幹線乗車（東京～新神戸）



人的交流・学術交流

- 日印間の人の交流は限定的であり、活性化が課題。
- 2018年、日本語教師育成センター設立。
- インド工科大学ハイデラバード校、インド情報技術大学ジャバルプル校への支援継続。
- 2023年3月の岸田総理訪印時、両首脳間で、2023年度を「日印観光交流年」とし、観光交流を進めていくことで一致。2024年3月の日印外相間戦略対話後に、2024年度も延長する旨発表。

	日印間	日中間	割合
日本人訪問者数（19年：JNTO統計）	約24万人	約268万人	1／11
訪日外客数（23年：JNTO統計）	約16．6万人	約242．5万人	1／14
在日留学生数（23年：独自）	1，940人	165，898人	1／84
在留邦人数（23年：外務省）	8，157人	101，786人	1／12
在留外国人数（23年：法務省）	46，262人	788，495人	1／17
日本語学習者数（21年度：JF調査）	36，015人	1，057，318人	1／29
地方自治体間交流（23年：CLAIR調査）	6組	382組	1／63
国際航空定期便数（23年：国交省）	24便／週	596．5便／週	1／24

インド概況

国　　名	インド共和国 (Republic of India) 
政　　体	共和制
元　　首	ドロウパディー・ムルム大統領（任期5年、2022年7月就任）
政　　府	首相　ナレンドラ・モディ
議　　会	二院制（上院250議席、下院552議席（(注)インド憲法における規定数)）
首　　都	ニューデリー（人口約1,679万人。2011年インド国勢調査）
面　　積	328万7,469㎢（インド政府資料：パキスタン、中国との係争地を含む）
人　　口	14億1,717万人（2022年世銀資料）
民　　族	インド・アーリヤ族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
言　　語	連邦公用語はヒンディー語 他に憲法で公認されている州の言語が21言語
宗　　教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.7%、仏教徒0.7%、ジャイナ教徒0.4%　（2011年国勢調査）
通　　貨	ルピー（INR）（1米ドル=82.98ルピー（2024年2月1日））
GDP(名目)	3兆3,851億ドル（2022年：世銀資料）
GDP成長率	7.0%（2022年度：世銀資料）
主要産業	農業、工業、IT産業
主要貿易相手国	輸出：米国、UAE、オランダ、中国、バングラデシュ（日本は第26位） 輸入：中国、UAE、米国、ロシア、サウジアラビア（日本は第13位） （2022年度：インド政府資料）
主要貿易品目	輸出：石油製品、宝石類、電気機器、一般機械、化学関連製品 輸入：原油・石油製品、宝石類、電気機器、一般機械、化学関連製品 （2022年度：インド政府資料）
日本の対インド貿易	輸出：2兆180億円（一般機械、化学関連品、電気機器、鋼等） 輸入：8,332億円（有機化合物、魚介類、ダイヤモンド、アルミニウム等） （2022年財務省貿易統計）
日本企業の進出状況	スズキ（四輪・二輪）、ホンダ（二輪）　ほか1,400社 （2022年在インド日本国大使館調査）
在留邦人数	8,197人（2023年10月）（外務省海外在留邦人数調査統計）
在日インド人数	46,262人（2023年6月）（法務省在留外国人統計）

○歴史

年月　略史

1947年	英国領より独立
1950年	インド憲法の制定
1952年	日インド国交樹立、第1回総選挙
1950年代～	コングレス党が長期間政権を担当（但し、1977～1980年、1989～1991年を除く）
1990年代	経済自由化政策の推進
1998年	インド人民党（BJP）を中心とする連立政権が成立
2004年	コングレス党を第一党とする連立政権が成立
2009年	コングレス党を第一党とする連立政権（第2次マンモハン・シン政権）が成立
2014年	インド人民党（BJP）政権が成立
2019年	インド人民党（BJP）政権（第2次ナレンドラ・モディ政権）が成立

○内政

2004年の第14回下院議員総選挙に引き続き、2009年の第15回下院議員総選挙でも、与党コングレス党を第一党とするUPAが過半数を確保。第2次UPA政権が発足。2014年4月から5月に行われた第16回下院議員総選挙では、インド人民党（BJP）が単独過半数を超えて大勝し、インド人民党（BJP）政権（ナレンドラ・モディ首相）が発足。2024年4月から5月に行われた第18回下院議員総選挙では、インド人民党（BJP）は単独過半数を割ったもののBJPを含む与党連合が辛勝し、BJP政権（ナレンドラ・モディ首相）が継続。

○外交

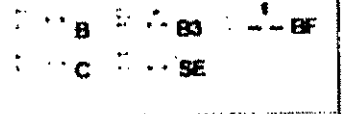
伝統的に非同盟、全方位外交を志向。近年、日本、米国との関係を積極的に強化し、日米豪印を「自由で開かれたインド太平洋」を推進するものとして重視。一方でロシアとの伝統的な友好関係を維持。経済関係が急速に発展した中国との間では、2020年に国境で軍事衝突が発生。モディ首相はインド太平洋地域における具体的協力を推進する「アクト・イースト」政策を展開。

○経済概況

インドは独立以来、輸入代替工業化政策を進めてきたが、1991年の外貨危機を契機として経済自由化路線に転換し、規制緩和、外資積極活用等を柱とした経済改革政策を断行。その結果、経済危機を克服したのみならず、高い実質成長を達成。2005年度～2007年度には3年連続で9%台の成長率を達成し、2008年度は世界的な景気後退の中でも6.7%の成長率を維持、2010～2011年度は8.4%まで回復したが、欧州債務危機及び高インフレに対応するための利上げ等の要因により、経済は減速。2014年度に入り、経済重視の姿勢を掲げるモディ新政権が成立。新政権成立後のGDP成長率は2014年度に7.4%、2015年度は8.0%、2016年度は8.3%、2017年度は6.8%、2018年度は6.5%と高い成長率を維持したものの、2019年度は3.9%と減速。2020年度に世界的な新型コロナ感染拡大の影響を受け、一時経済は大幅に縮小し、GDP成長率は－5.8%と大きく減速。同年度中からインフラへの投資を中心とした大規模な経済対策を実施したことで、第二波、第三波の影響は受けつつも、2021年度のGDP成長率は9.1%とプラスに転じ、コロナ前の水準に回復。2022年度のGDP成長率も7.0%と、高い水準を維持している。

訪問地注意事項（インド）

時差	・**日本より3.5時間遅い（日本の正午＝現地の午前8:30）。**
気候	・7月の平均最高気温は、アーメダバード市で約30℃、デリーで約40℃。いずれも高温多湿で、日差しも強い。 ・**日傘や帽子の使用、ボトルの水（スポーツドリンクが望ましい）の携帯、日焼け止め等が必要。**
宗教上の留意点	・女性は肌を見せない習慣がある。男性もショートパンツは不可。 ・8割がヒンドゥー教徒。その他14%はイスラム教徒など。宗教上、牛、豚を食べない人が多く、ベジタリアンも多い。 ・**グジャラート州は禁酒法が施行（ドライ）。公共空間での飲酒不可。** ・ヒンドゥー教、イスラム教ともに左手は不浄の手とされるため、**握手や食事、物の受渡しなどは右手で行うのが基本。**
宿泊先ホテル	・シャンプー、コンディショナー、石鹸、綿棒、コットン、くしは備付けがあるが、合う合わないがあるため、**日本からの持参をお勧め。歯ブラシ、歯磨き粉は要持参。**ドライヤーは備付けあり。
保健衛生	・**トイレは不衛生。**ドアノブ周囲に汚染された指紋の跡が付着していることがあるので、使用後の手洗いは注意深く行う。 ・高級ホテルやレストランを除き、トイレは和式に似たインド式。使用後は自分で手桶で水を汲んで流す。インド式トイレにはトイレットペーパーがなく、現地の紙は質が悪いので、**日本からティッシュペーパーの持参を推奨。** ・宗教上の理由から、野生動物の駆除や殺生が避けられているため、町中いたるところに野良犬、野良猫、猿、リスなどの野生動物、野鳥、野良牛が多い。**犬、猿は狂犬病のリスクが高く、動物には絶対に近づかないこと。** ・経口感染症が多く、食事前や外出後には、石鹸で手を洗うこと。アルコールを携帯し、こまめに手指消毒することも有効。
水・食事	・**全土で水事情が悪く、蛇口から出る水道水は飲用不可。**飲用にはボトル詰め飲料を選び、開栓の際に密閉の不具合を確認する。**レストランで出される水は水道水が多いので避け、氷にも注意。** ・インド料理はスパイシーで油も多く、胃もたれや下痢をしやすい。
治安状況	・**詐欺やスリ、ひったくり、性的暴行、睡眠薬強盗などが発生。特にデリーでは旅行会社がらみの詐欺事件が多発している。** ・交通秩序、マナーがないに等しいため、道路の歩行、横断の際は、交通事故に遭わないよう、常に周囲を注意。

写真撮影	・空港、軍関連施設、港湾、橋梁、ダム等の写真撮影は禁止。鉄道も撮影禁止。
通貨	・ルピー（Rupee/略号はRs）、補助通貨単位はパイサー（Paisa） Rs1=100 P 紙幣の種類：Rs10、Rs20、Rs50、Rs100、Rs500、Rs1,000、Rs2,000の7種類 硬貨の種類：P10、P20、P50、RS1、RS5、RS10の7種類。 ・1ルピー＝1.92円（令和6年6月現在）
両替 （現金）	・現地通貨は、交通費、チップ、飲み物代程度を用意。日本円は少額の両替が必要な時のために、千円札があると便利。 ・インド・ルピーへの両替はデリー空港到着後に実施。再両替の際に、両替の証明書類（レシート）が必要なので要保管。
クレジット カード	・現金を持ち歩かずにすみ、レート、両替手数料ともに現金より得。 ・出発前に必ず利用限度額と暗証番号（PINコード）を確認。盗難、紛失の際は速やかにカード会社に届け出る必要があるので、連絡先も要確認。
チップ	・レストラン：サービス料が含まれている場合は不要。そうではない場合は10%程度。 ・ホテル：荷物の運搬やルームサービスを依頼した際には、チップを渡した方がマナーとしてスマート。目安は、Rs20程度。
電気機器	・220V、50Hz。100V専用の日本製品を使う場合は変圧器が必要。 ・プラグの形状は様々（B3、BF、B、C）。 
インターネット機器	・宿泊先では、部屋で無料のWIFIが利用可能。
喫煙	・インドに持ち込める免税範囲は紙巻たばこ100本、または葉巻25本、または刻みたばこ125g。 ・電子タバコ及び加熱式タバコの持込は禁止（没収）。 ・喫煙には寛容だが、公共施設での喫煙は200ルピーの罰金。
土産	・古美術品の中には重要美術品の指定を受け、インド政府（考古学局）の許可なしに輸出できないものがあるので、古美術品の購入時には、この点の確認と領収書の保管が必要。

出典：外務省海外安全ホームページ

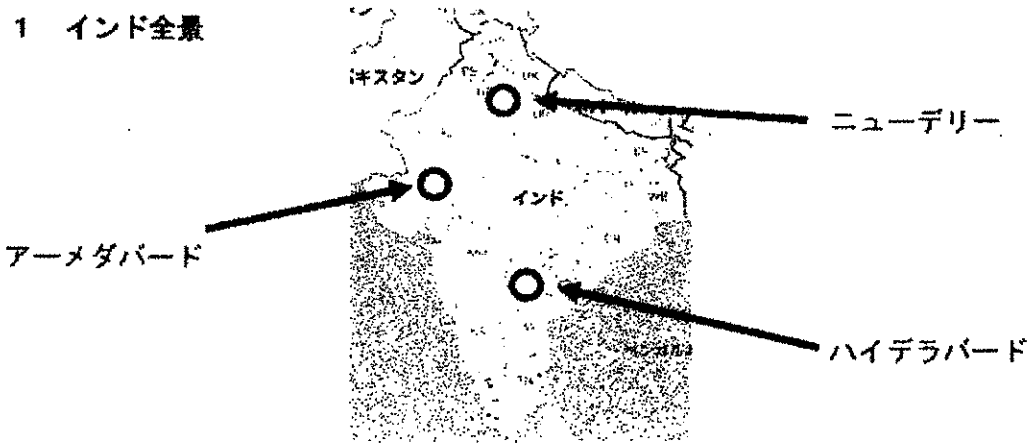
[illegible]

阪急交通社　インド観光ガイド

[illegible]

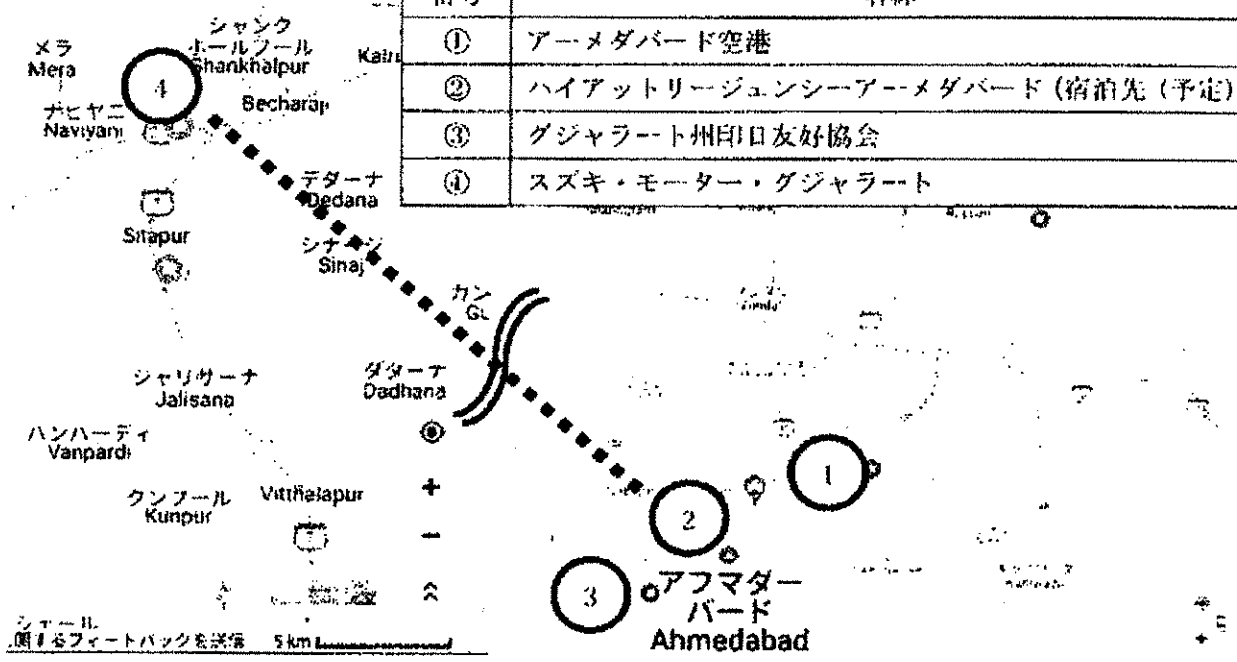
【参考】訪問先位置図

1　インド全景



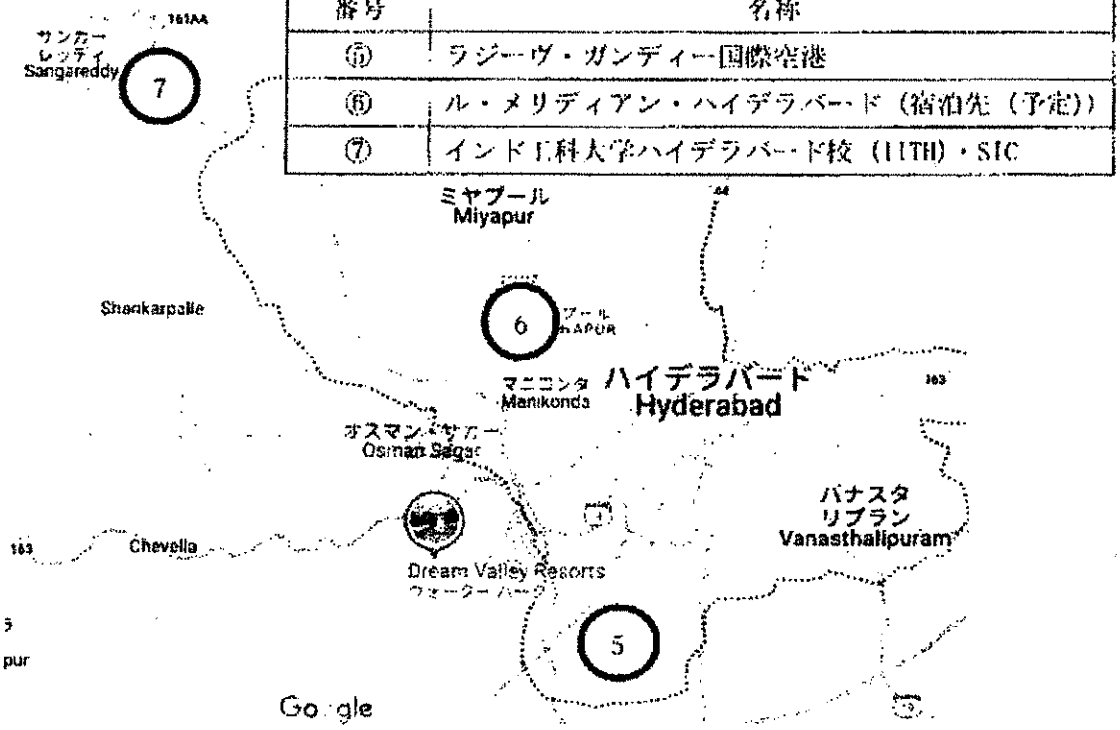
2　アーメダバード周辺

番号	名称
①	アーメダバード空港
②	ハイアットリージェンシーアーメダバード（宿泊先（予定））
③	グジャラート州日印友好協会
④	スズキ・モーター・グジャラート



3　ハイデラバード周辺

番号	名称
⑤	ラジーヴ・ガンディー国際空港
⑥	ル・メリディアン・ハイデラバード（宿泊先（予定））
⑦	インド工科大学ハイデラバード校（IITH）・SIC



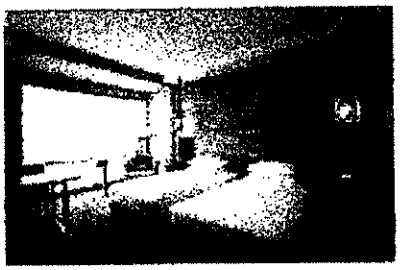
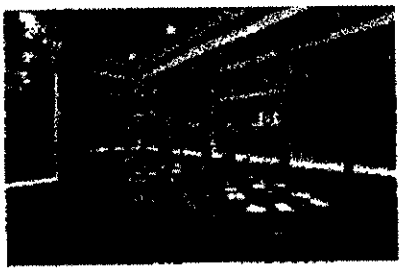
世界ホテル案内

INFINIプロパティー番号

Hyatt Regency Ahmedabad

地図番号 26
☆☆☆☆☆

住所	17/A, Ashram Road Ahmedabad, 380014			部屋数	210室 11F
Tel	(079)40171234	Fax	(079)40171235	RESV	HYA	CPON	
URL	https://www.hyatt.com/			E-mail	ahmedabad.regency@hyatt.com		
カード	VISA Master AMEX Diners JCB	チェック In/Out	14:00/12:00	開業	2015	改装	

ポイント

アーメダバード国際空港(AMD)から車で20分（9km）。中央ビジネス地区に位置したシティホテル。サーバルマティー・リバーフロントに近接し、ショッピング地区の C.G. Road まで車で10分。客室は広々として床から天井までの窓が設置され明るく落ち着いた雰囲気で最新機器や無料WiFi接続など便利なアメニティが揃い快適な住環境を提供。料飲施設はレストランが2ヶ所、カフェ、ラウンジ・バーが各1ヶ所あり、伝統的な郷土料理や本格的な四川料理、イタリアンを味わえる。宴会・会議施設は9ヶ所あり、シアター形式で最大600名収容。スパ施設が充実している。

客室設備

○ 全客室　△ 一部客室　× 無し

エアコン	○ ドライヤー	○ テレビ	○ お茶・コーヒーメーカー	○
バスタブ	△ 直通電話	○ 金庫	○ キッチン	×
シャワー	○ ボイスメール	○ ミニバー／冷蔵庫	○ テラス	×

喫煙区分　禁煙客室あり

インターネットアクセス　全室あり　無料　Wi-Fi
プラグタイプ
電圧　220V

ホテル施設・サービス

○ あり　× 無し

和食	×	ツアーデスク	○	クリーニング	○	日本語スタッフ	×
エグゼクティブフロアー	○	コンビニ	×	プール		屋外プール	
障害者用の客室	○	テニスコート	×	ビジネスセンター		24時間利用可	
宴会場・会議場	○	ゴルフ場	×	ルームサービス		24時間利用可	
フィットネス	○	バー	○	駐車場		無料	
サウナ	○	カジノ	×				

料金

上記の情報及び地図は随時更新を行っておりますが、実際とは異なる場合もございます。
Copyright c TMI INC. www.tmijapan.com

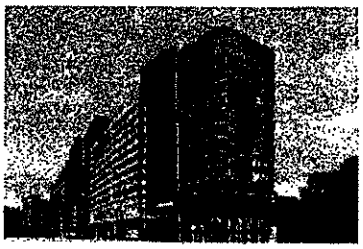
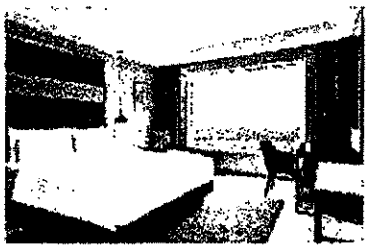
世界ホテル案内

INFINIプロパティー掲載

Le Méridien Hyderabad

地図外
☆☆☆☆☆

住所	Plot No 132 Miyapur Road, Gachibowli Hyderabad 500032					部屋数	241室 13F
Tel	(040)42865550	Fax	(040)42865551	RESV	SH	CPON	
URL	https://www.marriott.com/			E-mail			
カード	VISA Master AMEX Diners	チェック In/Out	14:00/12:00	開業	2019	改装	


ポイント

ラジーヴ・ガンディ国際空港（ＨＹＤ）から車で30分（33.6km）、市西部郊外にある新興のIT、金融地区・ガチバウリに位置したラグジュアリーホテル。コンベンションセンター（HICC）まで5.4km、ゴールコンダ・フォートまで18km、チャ…ル・ミーナ…ルまで30km。客室は広々として明るくスタイリッシュなインテリアでワークデスクが設置され最新機器や無料WiFi接続、アイロンなど便利なアメニティが揃っている。料飲施設はレストラン、ルーフトップ・バー&レストラン、バー、ラウンジが各1ヶ所あり、郷土料理やアジアン、西洋料理など多彩な料理を味わえる。宴会・会議施設は3ヶ所あり、シアター形式で最大250名収容可能。

客室設備

○ 全客室　△ 一部客室　× 無し

エアコン	○	ドライヤー	○	テレビ	○	お茶・コーヒーメーカー	○
バスタブ		直通電話	○	金庫	○	キッチン	×
シャワー	○	ボイスメール	○	ミニバー／冷蔵庫	○	テラス	×

シャンプー ○　石鹸 ○

喫煙区分　喫煙客室あり

インターネットアクセス	全室あり　無料　Wi-Fi
プラグタイプ	B3
電圧	220V

ホテル施設・サービス

○ あり　× 無し

和食	×	ツアーデスク	○	クリーニング	○	日本語スタッフ	×
エグゼクティブフロアー	○	コンビニ	×	プール	屋外プール		
障害者用の客室	○	テニスコート	×	ビジネスセンター	24時間利用可		
宴会場・会議場	○	ゴルフ場	×	ルームサービス	24時間利用可		
フィットネス	○	バー	○	駐車場	無料		
サウナ	○	カジノ	×				

料金

上記の情報及び地図は随時更新を行っておりますが、実際とは異なる場合もございます。

Copyright c TMI INC. www.tmijapan.com

研修費

月	日	番号	摘要		支出	累計
4	3	1	研修①	4/12大阪研修(受講料、振込手数料)	30,330	30,330
5	8			4/12大阪研修(交通費、日当)	19,910	50,240
4	3	2	研修②	4/22-24大阪研修(受講料、振込手数料)	60,330	110,570
5	14			4/22-24大阪研修(交通費、日当、宿泊費)	49,960	160,530
5	7		市内近接地旅費	4月分	320	160,850
5	1	3	研修③	5/17東京研修(参加費、振込手数料)	33,440	194,290
6	18			5/17東京研修(交通費、日当)	18,296	212,586
6	12		市内近接地旅費	4月分	1,036	213,622
6	12		市内近接地旅費	5月分	2,368	215,990
6	12		市内近接地旅費	5月分	1,134	217,124
7	1	4	研修④(調査④)	8/8博多研修(受講料、振込手数料)	75,660	292,784
9	30			8/8研修④【8/7調査④含む】(交通費、日当、宿泊費)	179,310	472,094
8	7		市内近接地旅費	7月分	296	472,390
8	8		市内近接地旅費	7月分	629	473,019
8	30		市内近接地旅費	8月分	270	473,289
						473,289

研修費

月	日	番号	摘要		支出	累計
12	10		市内近接地旅費	11月分	777	777
1	10	5	研修⑤	受講料（当日不参加：資料、USBデータ、振込手数料）	60,660	61,437
1	10		市内近接地旅費	12月分	1,739	63,176
2	7		市内近接地旅費	12月分	962	64,138
2	10		市内近接地旅費	1月分	3,042	67,180
3	3		市内近接地旅費	1月分	259	67,439
3	12		市内近接地旅費	2月分	592	68,031
3	25		市内近接地旅費	2月分	259	68,290
3	12	6	研修⑥	3/25東京研修（受講料、振込手数料）	25,660	93,950
3	31			3/25東京研修（日当、交通費）	17,320	111,270
3	31		市内近接地旅費	3月分	962	112,232
						112,232

令和6年 4月 1日

会派名　浜松市議会 市民クラブ
代表者　北野谷富子　様

会派名　浜松市議会 市民クラブ
氏　名　石津　陽子[redacted]

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1. 出張者　　石津陽子

2. 期間及び出張先　　令和6年4月12日（金）
リファレンス大阪駅前第４ビル

3. 目的　　福祉政策特別研修受講の為
・健康寿命と平均寿命
・健康福祉政策の質問の仕方

視察依頼書送付願

令和　　年　月　日

浜松市議会議長　　様

会　派　名　浜松市議会 市民クラブ
代表者氏名　北野谷富子　　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

地方議員研究会

医学博士/
元市議会議長が
教える

福祉政策特別研修



in 博多 3/27(水) in 大阪 4/11(木) in 東京 4/25(木)

10:00～12:30

認知症基本法解説

・議員必須！目的と基本理念をおさらい　・自治体の責務について確認
・認知症政策の歴史と課題　・認知症の基礎と自分ごととして考える重要性

14:00～16:30

『幸齢社会』実現会議
～政府の議論の詳細を把握しよう

・議長が内閣総理大臣の意義　・各構成員からの資料からわかる未来
・現状把握と自治体への影響　・政府資料を先読みして議会質疑に活かそう

in 博多 3/28(木) in 大阪 4/12(金) in 東京 4/26(金)

10:00～12:30

健康寿命と平均寿命

・健康寿命延伸プランの解説　・疾病予防と重症化予防
・介護予防とインセンティブ設計　・医学博士が教える健康政策

14:00～16:30

健康福祉政策の質問の仕方

・自治体の事業で成果が出てるか確認しよう　・各問題の取り上げ方のポイント
・私がしてきた質問事例紹介　・福祉部長が唸る質問の仕方

講師

宮本 正一（みやもと しょういち）

元寝屋川市議会議長、日本公共経営研究所代表、
吉野町役場政策アドバイザー

1967年大阪府寝屋川市生まれ。ボストン・ウェントワース工科大学卒業後、
神戸大学経営大学院でMBA（経営学修士）、大阪市立大学大学院で医学博士号を取得。

政治略歴
平成7年に27歳で市議会議員に無所属で当選後、5期20年間務める。第54代寝屋川市議会議長。
現在、日本公共経営研究所代表、同志社大学生命医科学部研究員、奈良県吉野町役場政策アドバイザー

受講料　1講座 15,000円（税込）

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ事務局

地方議員研究会
TEL 050-6868-9678
FAX 050-6868-9679
メール mail@chihogiken.or.jp
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階5-6号室

FAX 050-6868-9679

お申込みは FAXまたは メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

メール申込み方法 mail@chihogiken.or.jp

FAX申込み書 申込書に明記の上、FAXで050-6868-9679宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ☑チェックください。

in博多

3/27 木曜日	10:00〜12:30	☐	認知症基本法解説
	14:00〜16:30	☐	『幸齢社会』実現会議 ～政府の議論の詳細を把握しよう
3/28 木曜日	10:00〜12:30	☐	健康寿命と平均寿命
	14:00〜16:30	☐	健康福祉政策の質問の仕方

in大阪

4/11 木曜日	10:00〜12:30	☐	認知症基本法解説
	14:00〜16:30	☐	『幸齢社会』実現会議 ～政府の議論の詳細を把握しよう
4/12 金曜日	10:00〜12:30	☑	健康寿命と平均寿命
	14:00〜16:30	☑	健康福祉政策の質問の仕方

in東京

4/25 木曜日	10:00〜12:30	☐	認知症基本法解説
	14:00〜16:30	☐	『幸齢社会』実現会議 ～政府の議論の詳細を把握しよう
4/26 金曜日	10:00〜12:30	☐	健康寿命と平均寿命
	14:00〜16:30	☐	健康福祉政策の質問の仕方

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期目)
電話番号	( ) −	FAX番号	( ) −
E-mail	@		
領収証 宛名	ご本人様名 ・ その他( )		

会場の参加を希望せず、郵送サービスでのお申込みの方はチェックしてください

☐ 当日不参加(資料、USB動画データ、領収証 郵送希望)
動画データの無断転載等はしないことに同意して申込みます
※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもご入場をお断りさせていただきます。必ず欠席される方のみチェックしてください。

郵送先の住所 ※郵送希望の方はご記入ください　郵便番号(−)

開催場所 in博多

リファレンス駅東ビル

4講座開場所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目16-14

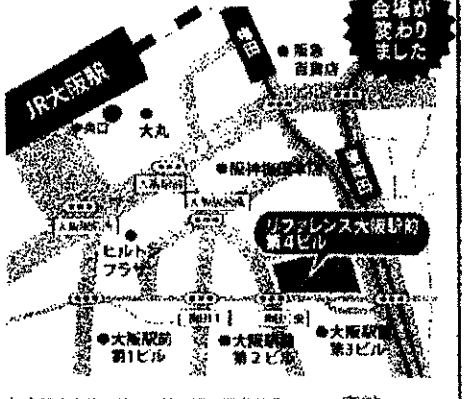


▶JR博多駅 筑紫口より 徒歩4分
博多スターレーン方面へ向かい、「アパホテル」角を右折、左側ガラス貼りのビル(1階コインパーキング)

開催場所 in大阪

リファレンス大阪駅前第4ビル

4講座開場所 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目11-4 大阪駅前第4ビル23F



▶大阪市営地下鉄谷町線東梅田駅(9)番出口より 直結
▶JR大阪駅 中央口より 徒歩約8分
▶大阪市営地下鉄御堂筋線梅田駅(4)番出口より 徒歩約7分
▶阪神梅田駅より 徒歩約5分

開催場所 in東京

リファレンス国際ビル貸会議室

4講座開場所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目1-1 国際ビル2F



▶JR有楽町線 有楽町駅 国際フォーラムAより 徒歩1分
▶東京メトロ有楽町線 有楽町駅 01より直結
▶東京駅から 徒歩10分 ▶東京駅からタクシーで約500円

支払証明書

金額		百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	9	0	6	6	0

但し　地方議員研究会主催セミナー受講料及び振込手数料として

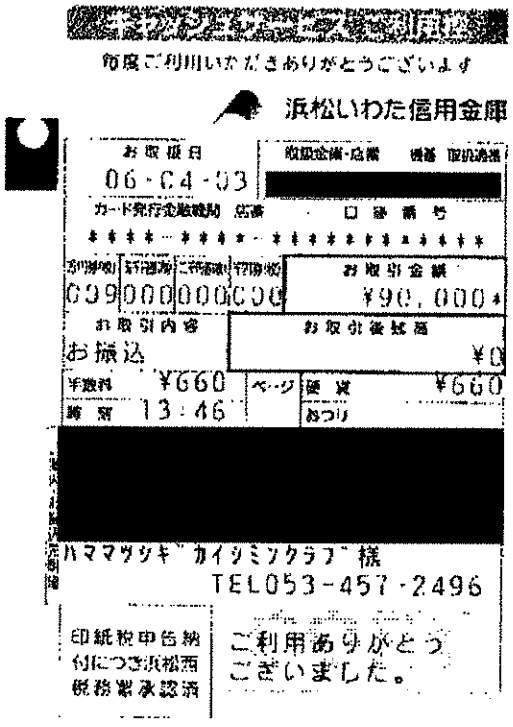
内訳　石津議員　研修①　4/12(金)大阪

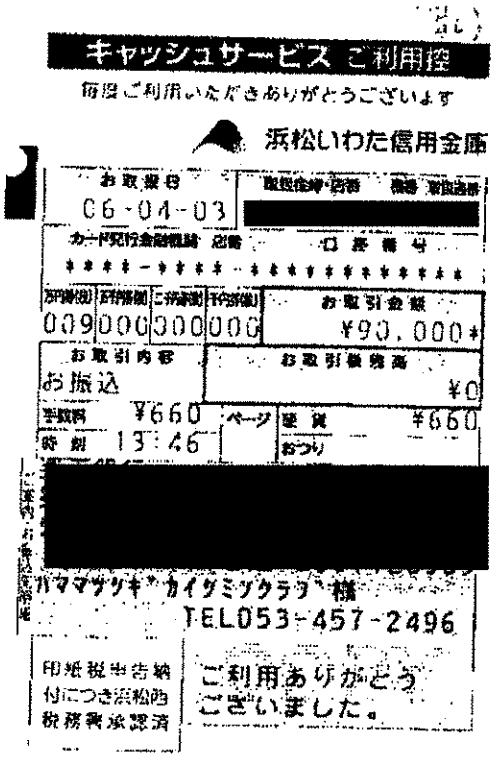
4/12(金)10:00～	15,000
4/12(金)14:00～	15,000

花井議員　研修②　4/22(月)、23(火)、24(水)大阪

4/22(月)14:00～	15,000
4/23(火)10:00～	15,000
4/23(火)14:00～	15,000
4/24(水)10:00～	15,000

浜松磐田信用金庫(振込手数料)		
ATM現金,5万円以上10万円まで,他行宛	660	※振込手数料は折半
	90,660 円	





上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和 6年 4月 3日

会派名　浜松市議会 市民クラブ

代表者名　北野谷富子 [redacted]

領収証

2024 年 4 月 12 日

[redacted] 様

★ ¥30,000

但 4/12 10時～ 健康寿命と平均寿命
4/12 14時～ 健康福祉政策の費用の仕方
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒530 0001
大阪府大阪市北[redacted]
大阪駅前第2ビ[redacted]
TEL 050-68[redacted]

令和6年3月18日(月)

静岡県浜松市議会 市民クラブ
石津陽子 様

地方議員研究会
CKセミナー事務局
電話 050-6868-9678
(平日9～12時、13～17時)
FAX 050-6868-9679

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催　研修会にお申込みいただきありがとうございます。
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。
ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

お申込み講座	金額
① 2024年4月17日(金)16時～宮本講師【大阪】健康寿命と平均寿命	¥15,000
② 2024年4月12日(金)14時～宮本講師【大阪】議会基礎改革の実例の紹介	¥15,000

領収書宛名：浜松市議会 市民クラブ 様
ご請求額：¥30,000
【お振込み口座】※振込手数料はお客様負担でお願いいたします。
[redacted]

※新型コロナ感染予防における対策を徹底の上、少人数にて開催させていただきます。
※何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
※大阪会場につきましては、建物1階からエレベーターで23階にお越しください。
※23階のエレベーターを降りた場所にある案内図をご覧いただき、2315会議室でお待ちしております。

令和6年3月14日(木)

静岡県浜松市議会
花井洋介 様

地方議員研究会
CKセミナー事務局
電話 050-6868-9678
(平日9～12時、13～17時)
FAX 050-6868-9679

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催　研修会にお申込みいただきありがとうございます。
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。
ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

お申込み講座	金額
① 2024年4月22日(月)14時～奥瀬講師【大阪】自治体財政の基礎	¥15,000
② 2024年4月23日(火)10時～奥瀬講師【大阪】決算カードの見方	¥15,000
③ 2024年4月23日(火)14時～奥瀬講師【大阪】財政の比較の手法	¥15,000
④ 2024年4月24日(水)10時～奥瀬講師【大阪】自治問題の質問のポイント	¥15,000

領収書宛名：花井洋介 様
ご請求額：¥60,000
【お振込み口座】※振込手数料はお客様負担でお願いいたします。
[redacted]

※新型コロナ感染予防における対策を徹底の上、少人数にて開催させていただきます。
※何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
※大阪会場につきましては、建物1階からエレベーターで23階にお越しください。
※23階のエレベーターを降りた場所にある案内図をご覧いただき、2315会議室でお待ちしております。

令和6年3月18日(月)

静岡県浜松市議会 市民クラブ
石津陽子 様

地方議員研究会
CKセミナー事務局
電話 050-6868-9678
(平日9～12時、13～17時)
FAX 050-6868-9679

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催　研修会にお申込みいただきありがとうございます。
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。
ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

お申込み講座	金額
① 2024年4月12日(金)10時～宮本講師【大阪】健康寿命と平均寿命	¥15,000
② 2024年4月12日(金)14時～宮本講師【大阪】健康福祉政策の質問の仕方	¥15,000

領収書宛名：　浜松市議会 市民クラブ 様
ご請求額：　¥30,000
【お振込み口座】※振込手数料はお客様負担でお願いいたします。
[redacted]

※新型コロナ感染予防における対策を徹底の上、少人数にて開催させていただきます。
※何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
※大阪会場につきましては、建物１階からエレベーターで23階にお越しください。
※23階のエレベーターを降りた場所にある案内図をご覧いただき、2315会議室でお待ちしております。

令和6年4月3日(水)

静岡県浜松市議会 市民クラブ
石津陽子 様

地方議員研究会
CKセミナー事務局
電話 050-6868-9678
(平日9～12時、13～17時)
FAX 050-6868-9679

入 金 確 認 書

このたびは、地方議員研究会主催　研修会にお申込みいただきありがとうございます。
受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。
ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

お申込み講座	金額
(1) 2024年4月12日(金)10時～宮本講師【大阪】健康寿命と平均寿命	¥15,000
(2) 2024年4月12日(金)14時～宮本講師【大阪】健康危機政策の質問の仕方	¥15,000

領収書宛名：	浜松市議会 市民クラブ 様
お振込み金額：	¥30,000
お振込み日：	令和6年4月3日(水)
お振込み名義：	浜松市議会 市民クラブ 様

※新型コロナ感染予防における対策を徹底の上、少人数にて開催させていただきます。
※何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
※大阪会場につきましては、建物1階からエレベーターで23階にお越しください。
※23階のエレベーターを降りた場所にある案内図をご覧いただき、2315会議室でお待ちしております。

①

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和6年4月12日(金)
出張先 (目的)	大阪市 (地方議員研究会セミナー受講)
出張者氏名	石津陽子

旅　費　額　内　訳

項　目	金額	備考
交通費	18,410 円	詳細は下記の通り
日　当	1,500 円	@ 1,500 円× 1 人× 1 日
宿泊費	0 円	@ 14,800 円× 1 人× 0 泊
合　計	19,910 円	

	百	拾	万	千	百	拾	円
金額		¥	1	9	9	1	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和 6年 5月 8日

会派名　浜松市議会 市民クラブ

代表者　北野谷富子 [redacted]

〈詳細〉

東海旅客鉄道㈱	9,310	円・・・Ⓐ
西日本旅客鉄道㈱	9,100	円・・・Ⓑ
合計	18,410	円

往路(Ⓐ)
■浜松　6番線発
｜ こだま767号(N700系)(新大阪行)　108.9km
｜ 07:45-08:35[50分]
｜ 5,170円(指定席 4,140円)
◇名古屋　16番線着・17番線発［乗換1分+待ち2分］
｜ のぞみ203号(N700系)(新大阪行)　186.6km
｜ 08:38-09:27[49分]
｜ ↓(指定席 ↓)
■新大阪　22番線着

復路(Ⓑ)
■新大阪　25番線発
｜ ひかり518号(N700系)(東京行)　295.5km
｜ 17:48-19:13[85分]
｜ 5,170円(指定席 3,930円)
■浜松　5番線着

Ⓐ

領収書

浜松市議会
市民クラブ 様

領収年月日　2024.-4.12　登録番号：T3160001031569
金額　¥9,310（消費税等込み）　税10%

上記金額確かに領収いたしました
購入商品　JR東海株券
（20499 1枚）
東海旅客鉄道株式会社
株券類MV4発行　30500-01

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

Ⓑ

領収書

浜松市議会
市民クラブ 様

領収年月日　2024.-4.12　登録番号：T1120001059675
金額　¥9,100（消費税等込み）　税10%

上記金額確かに領収いたしました
購入商品　JR東海株券
（00574 1枚）
西日本旅客鉄道株式会社
株券類MK64発行　10575-02

印紙税申告納付につき大淀税務署承認済

令和6年 5月 8日

会派名　　浜松市議会　市民クラブ
代表者名　会長　北野谷富子 様

報　告　書

出張年月日	令和6年4月12日（金）
出　張　先	大阪市
出張の理由	地方議員研究会セミナー受講
出　張　者 氏　名　印	石津陽子 [redacted]

（出張の顛末）

別紙のとおり

（備考）

【研修会報告】

石津陽子

「医学博士/元市議会議長が教える　福祉政策特別研修」

【日時】令和６年４月１２日（金）
【場所】リファレンス大阪駅前第４ビル
【講師】元寝屋川市議会議長　宮本正一　氏

１９６７年大阪府生まれ。兵庫県立大学、ボストン・ウェントワース工科大学卒業後、神戸大学でMBA、大阪市立大学で医学博士号を取得。
平成７年に２７歳で寝屋川市議会議員に無所属で初当選。
５期２０年間市議会議員、寝屋川市議会議長も務める。
現在「医療・健康問題研究所」所長。吉野町役場政策アドバイザー。

【セミナー概要】

＜健康寿命と希望寿命＞

健康寿命から平均寿命まで平均12年間の間は思うように体を動かせない期間があるという。健康寿命をいかに伸ばし、体を自由に動かせない時期を短くするかが医療費も削減や高齢者の幸せの実現に繋がる。そのために国として示された指針がある。

２０４０年を展望した社会保障・働き方改革本部のとりまとめとして、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現に向けて厚生労働省から発表された方針。
経済財政運営と改革の基本方針2018（平成30年6月15日閣議決定）
基盤強化期間の重点課題は、高齢化・人口減少や医療の高度化を踏まえ、総合的かつ重点的に取り組むべき政策を取りまとめ、期間内から工程化、制度改革を含め実行に移していくこと及び一般会計における社会保障関係費の伸びを、財政健全化目標と毎年度の予算編成を結び付けるための仕組みに沿ったものとすることである。こうした取組に向け、2040年頃を見据え、社会保障給付や負担の姿を幅広く共有し、国民的議論を喚起することが重要であり、受療率や生産性の動向、支え手の減少や医療技術の高度化の進展等を踏まえた具体的な将来見通しを関係府省が連携して示す。あわせて、予防・健康づくり等による受療率の低下や生産性向上の実現に向けて、具体的な目標とそれにつながる各施策のＫＰＩを掲げ推進する。

・多様な就労と社会参加を実現するために

（雇用・年金制度改革）

① 高齢者雇用・就業機会の確保

② 中途採用の拡大

③ 就職氷河期世代の就職支援・職業的自立促進の強化

④ 年金受給開始年齢の柔軟化、被用者保険の適用拡大、私的年金の拡充

・健康寿命の更なる延伸に向けて

（健康寿命延伸プラン）

① 次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成

② 疾病予防・重症化予防

③ 介護予防・フレイル対策、認知症予防

・労働力制約が強まる中での医療・福祉サービスの確保に向けて

（医療・福祉サービス改革プラン）

① ロボット、ＡＩ、ＩＣＴ等の実用化推進、データヘルス改革

② 組織マネジメント改革

③ タスクシフティングを担う人材の育成、シニア人材の活用推進

④ 経営の大規模化・協働化

＜医学博士が教える健康政策＞

疾病予防と重症化予防

・厚生労働省の取り組みを解剖する

厚生労働省のＨＰ→政策について分野別の政策一覧

→健康▶施策情報→

▶関連審議会・検討会

・健康21を解剖する（▶施策情報→生活習慣病対策　健康日本２１）

２１世紀において日本に住む一人ひとりの健康と、実り豊かで満足できる人生を実現するための国民健康づくり運動。国民のさまざまな健康課題に関わる具体的な目標値を定め、十分な情報提供を行い、生活習慣の改善などに計画的に取り組むことで、国民の健康寿命を延ばすことを目指す。2024年から2035年までの12年間が健康日本21の第三次計画期間として、これまでの取り組みを評価し、新6大課題に対しての目標設定を掲げ、推進していく。基本的な傾向として、「すべての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」というビジョン実現のため、基本的な方向を①健康寿命の延伸・健康格差の縮小②個人の行動と健康状態の改善③社会環境の質の向上④ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの４つ。

＜健康福祉政策の質問の仕方＞

議会を改めて再認識し、質問に臨む必要がある。憲法による裏付け、憲法第93条「地方公共団体には、法律の定めるところによりその議事機関として議会を設置する」地方自治法による裏付け、地方自治法第89条「普通地方公共団体に、その議事機関として、当該普通地方公共団体の住民が選挙した議員をもって組織される議会を置く。②普通地方公共団体の議会は、この法律に定めるところにより、当該普通地方公共団体の重要な意思決定に関する事件を議決し、並びにこの法律に定める検査及び調査その他の権限を行使する。③前項に規定する議会の権限の適切な行使に資するため、普通地方公共団体の議会の議員は、住民の負託を受け、誠実にその職務を行わなければならない」地方自治法第94条「町村は、条例で、第八十九条第1項の規定にかかわらず、議会を置かず、選挙権を有する者の総会を設けることが出来る」地方自治法第96条「普通自治法公共団体の議会は、次に掲げる事件を議決しなければならない。①条例を設けまたは改廃すること②予算を定めること③決算を認定すること」地方自治法97条普通地方自治法第97条「普通地方公共団体の議会は、法律またはこれに基づく政令によりその権限に属する選挙を行わなければならない。②議会は予さんについて、増額してこれを議決することを妨げない。但し、普通地方公共団体の長の予算の提出の権限を侵すことは出来ない。」

二元代表制の新機能を確認。地方自治体は一元代表制である国の議員内閣制とは異なり、首長・議会ともに直接公選する二元代表制である、これはそれぞれは対等の関係。これにもかかわらず、多くの首長と地方議会は「総与党化」傾向。これからの首長・議会は、地方住民の声をどちらが的確に反映しているかを競い合う時代。二元代表制の新機能である。

＜講師の実際の健康政策への考え方＞

健康関係のエビデンスに対しての政策提言への活かし方や医学博士ならでは視点での健康増進へ考え方について。実際の例を取り上げながら、参加者からの質問に答える形で様々な話を聞いた。具体的な事例の掘り下げで分かりやすく納得のいく場面であった。

【所感】

健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」。生活が制限されるとは、病気で入院をしたり、介護を必要としたり、自立して元気に生活することが出来ない状態。ただ、長生きするだけではなく、生活の質を考慮すべきとする認識の高まりより健康寿命という観念が拡がった。医療の発達と共に平均寿命は延びることになるのと同じくして、健康寿命と平均寿命の間の期間が延びることになってしまったという一面がある。満足した人生を送るためにはその期間をなるべく短くしていくためにということを考えていくべきである。浜松は全国的に健康寿命

の高い市であることから、更に健康寿命を延ばすことに力を入れて、質の高い生活を平均寿命まで伸ばすにはどうしていくべきかを他都市のお手本となるよう推し進めていくことが国民全体の幸せにつながることと感じる。健康寿命の延伸は医療費削減にもつながる。

医学博士ならではの視点での物事の捉え方を伺い、これまでの自分自身の感覚とは少し違い物事の見方を教わった。視点を変えると疑問点もまた違うように湧き上がることもあり、幅が広がる感覚を身に着けることが出来たと感じた。健康関連の資料が数多く存在することを知り、その検索方法や使い方など、実践的な学びとなった。浜松が次回健康寿命調査で男女ともに再び1位に返り咲くことも願い、浜松に住む人の健康を考えた施策を提案できるよう今回の学びを活かしていく。